

2026 年 6 月

学生認識／行動調査2025

結果報告

学生支援センター

目次

調査の概要.....	2
回答率.....	2
1. 入学動機.....	3
2. 自己肯定感.....	6
3. 他学生および教職員との関係.....	9
4. 施設等満足度.....	11
5. 施設等への要望 [自由記述].....	16
6. 学修状況.....	19
7. 授業満足度.....	25
8. DP 達成度.....	31
9. 生活・心身の悩み・経済状況など.....	38
10. 本学への意見等 [自由記述].....	57

調査の概要

調査期間：2026年1月26日（月）～3月31日（火）

対象者：学部の1～4年生（休学者を除く）

調査方法：Google Forms を利用した（st アカウントからの回答に限定）。

学籍番号取得式による任意回答とした。

設問数：40問（選択式37問・自由記述3問）

回答率

< 学科別回答者数・回答率 >

学科	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科	社会経済学科	現代経済学科	中国語学科	英語学科	日本語学科
対象者数	712	152	419	546	255	402	938	701	232	907	202
回答者数	119	13	47	65	45	69	65	52	23	94	24
回答率	16.7%	8.6%	11.2%	11.9%	17.6%	17.2%	6.9%	7.4%	9.9%	10.4%	11.9%

学科	法律学科	政治学科	国際関係学科	国際文化学科	経営学科	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科	社会学科	全体
対象者数	970	643	439	344	1,617	673	376	424	865	11,817
回答者数	97	53	33	31	127	55	42	31	114	1,199
回答率	10.0%	8.2%	7.5%	9.0%	7.9%	8.2%	11.2%	7.3%	13.2%	10.1%

< 学年別回答者数・回答率 >

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	全体
対象者数	3,340	3,067	2,761	2,649	11,817
回答者数	590	317	168	124	1,199
回答率	17.7%	10.3%	6.1%	4.7%	10.1%

1. 入学動機

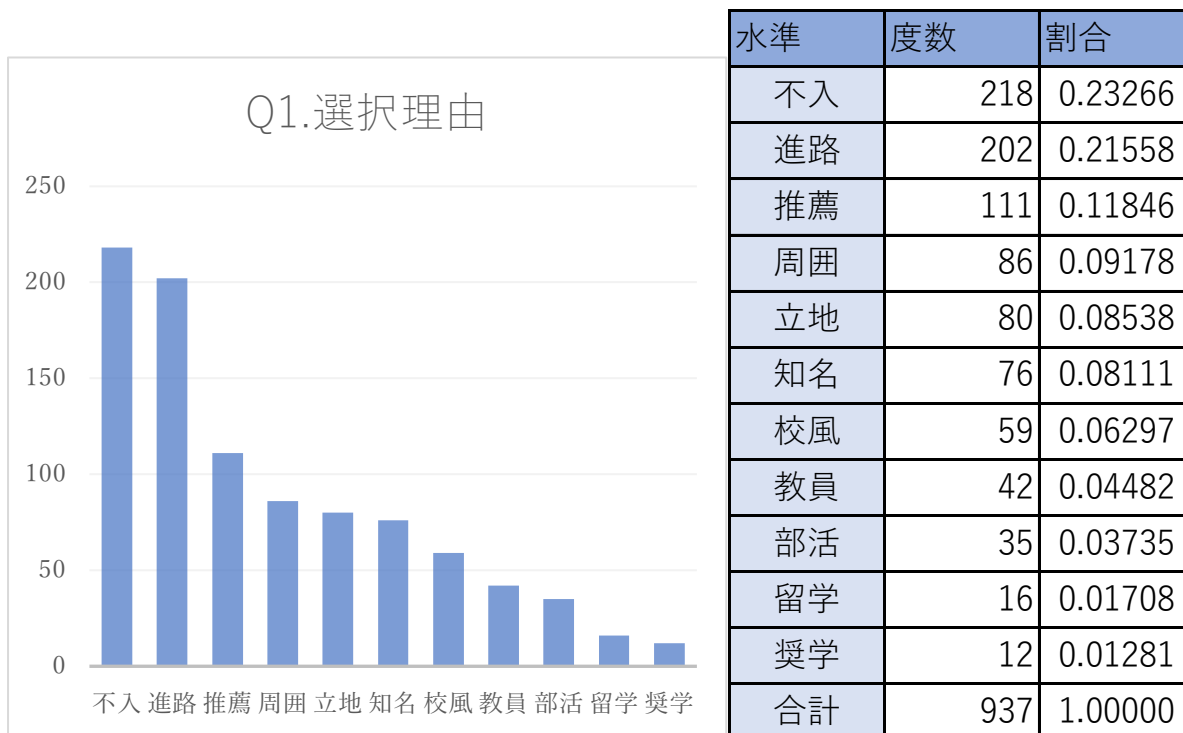
このセクションでは、Q1（入学動機）に関する部分について結果を報告する。

【入学動機】

Q1 1年生(2025年度入学生)のみ回答してください。本学に入学した理由は何ですか。(主なものを2つまで)

- ①校風 [校風]
- ②指導を受けたい教員がいた [教員]
- ③将来の希望進路に必要な勉強ができる [進路]
- ④知名度・注目度の高さ [知名]
- ⑤立地条件 [立地]
- ⑥親や先生など周囲のすすめ [周囲]
- ⑦推薦入試制度があった [推薦]
- ⑧希望の部活動等に入るため [部活]
- ⑨奨学金制度が充実している [奨学]
- ⑩留学制度が充実している [留学]
- ⑪希望した大学に入れなかった [不入]

<全学>



参考：2024 年度



参考：2023 年度



これはひとり2つまで選択した合計の頻度である。この設問に回答した1年生は574名であったので、その回答者の中でどのくらいの割合が各理由をあげたかは以下の通りとなる。38.0%が本学を選択した理由として、「不入」すなわち「希望した大学に入れなかった」をあげた。ついで多かったのは「進路」すなわち「将来の希望進路に必要な勉強ができる」35.2%である。今年度も「不入」と「進路」が回答数の上位2つとなった。

不入	進路	推薦	周囲	立地	知名	校風	教員	部活	留学	奨学
218	202	111	86	80	76	59	42	35	16	12
38.0%	35.2%	19.3%	15.0%	13.9%	13.2%	10.3%	7.3%	6.1%	2.8%	2.1%

参考：2024 年度

不入	進路	立地	推薦	周囲	知名	校風	教員	部活	留学	奨学
160	143	75	74	70	65	45	36	26	14	9
36.8%	32.9%	17.2%	17.0%	16.1%	14.9%	10.3%	8.3%	6.0%	3.2%	2.1%

参考：2023 年度

進路	不入	推薦	周囲	知名	校風	立地	教員	部活	留学	奨学
120	105	74	56	52	44	39	17	11	9	8
34.7%	30.3%	21.4%	16.2%	15.0%	12.7%	11.3%	4.9%	3.2%	2.6%	2.3%

では2つ選択した時、どの2つの組み合わせが多かったのだろうか。2つの理由の組み合わせの頻度の一覧は以下の通りである（この設問に回答した1年生574名中、2つの理由を回答したのは363名）。

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度

度数	不入	進路	推薦	周囲	立地	知名	教員	部活	留学	奨学	合計	選択理由2
進路	37	0	24	14	17	15	0	8	5	4	124	
推薦	4	0	0	0	0	0	0	7	3	0	14	
周囲	21	0	13	0	0	0	0	4	2	1	41	
立地	23	0	8	6	0	0	0	0	0	1	38	
知名	27	0	5	9	4	0	0	3	0	0	48	
校風	5	22	6	5	6	4	1	2	0	1	52	
教員	5	16	5	1	7	1	0	0	2	0	37	
部活	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
留学	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
奨学	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
合計	131	38	61	35	34	20	1	24	12	7	363	

選択理由1

参考：2024年度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	31	18	11	0	17	8	5	5	2	0	97
教員	1	5	2	9	4	1	1	2	0	0	25
校風	5	6	5	10	4	3	1	0	0	5	39
周囲	16	10	0	0	0	0	3	0	0	0	29
知名	22	7	9	0	6	0	3	1	0	0	48
立地	14	10	6	0	0	0	2	0	1	0	33
推薦	3	0	0	0	0	0	1	3	1	0	8
部活	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
留学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	95	56	33	19	31	12	16	11	4	5	282

参考：2023年度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	17	20	17	0	2	9	1	3	3	0	72
教員	0	2	1	2	3	0	0	1	1	0	10
校風	4	4	6	15	0	8	0	0	1	3	41
周囲	8	6	0	0	0	0	1	1	0	0	16
知名	11	12	3	0	3	0	1	1	0	0	31
立地	10	9	4	0	0	0	1	0	1	0	25
推薦	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
部活	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	53	53	31	17	8	17	6	7	6	3	201

最も多いのが「不入」と「進路」の37名で、次が「不入」と「知名」の27名である。

2. 自己肯定感

このセクションでは、Q2（入学時の自己肯定感）と、Q3（現在の自己肯定感）に関する部分について結果を報告する。

【自己肯定感】

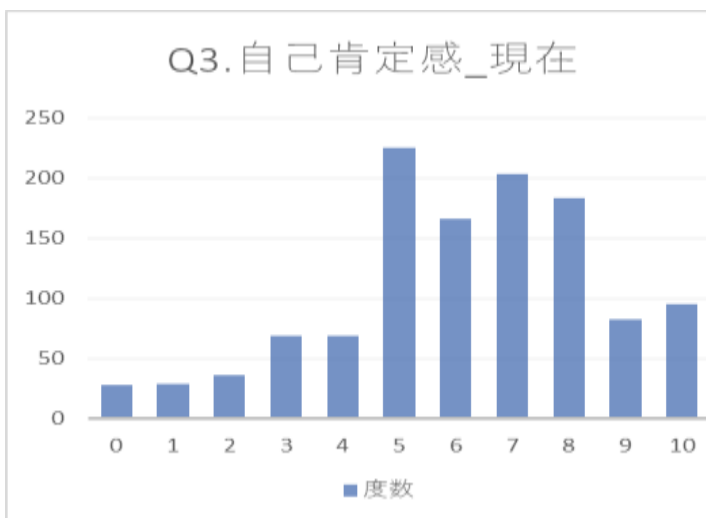
Q2「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、入学時にはどの程度でしたか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

Q3「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、現在どの程度ですか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

<全学>



水準	度数	割合
0	55	0.04637
1	46	0.03879
2	68	0.05734
3	101	0.08516
4	114	0.09612
5	275	0.23187
6	139	0.11720
7	157	0.13238
8	111	0.09359
9	46	0.03879
10	74	0.06239
合計	1186	1.00000



水準	度数	割合
0	28	0.02363
1	29	0.02447
2	36	0.03038
3	69	0.05823
4	69	0.05823
5	225	0.18987
6	166	0.14008
7	203	0.17131
8	183	0.15443
9	82	0.06920
10	95	0.08017
合計	1185	1.00000

参考：2024 年度



参考：2023 年度



全学の分布をヒストグラムで見ると、最頻値は入学時も現在も 5（50%程度の自己肯定感）であり、最低値の 0 から最高値の 10 まで広範に分布していることがわかる。平均値は、入学時が 5.30、現在が 6.14 であり、0.84 の上昇が見られた（2023 年度 0.96、2024 年度 0.8 の上昇）。つまり全学的には入学時よりも現在のほうが自己肯定感は上昇しているが増加幅は減少傾向にあるといえる。

<学年別>

Q3 の回答数値すなわち現在の自己肯定感を学年別に集計してみた。学年が進むに従って自己肯定感を高めている様子が見えてくる。

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	587	6.00	2.29	0.09
2	311	5.97	3.55	0.20
3	166	6.44	3.50	0.27
4	121	6.85	3.58	0.33

参考：2024 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	452	5.98	2.29	0.11
2	48	6.87	3.55	0.51
3	19	7.45	3.50	0.80
4	22	7.60	3.58	0.76

参考：2023 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	346	6.14	2.37	0.13
2	190	5.93	2.05	0.15
3	140	6.17	2.33	0.20
4	122	6.65	2.38	0.22

3. 他学生および教職員との関係

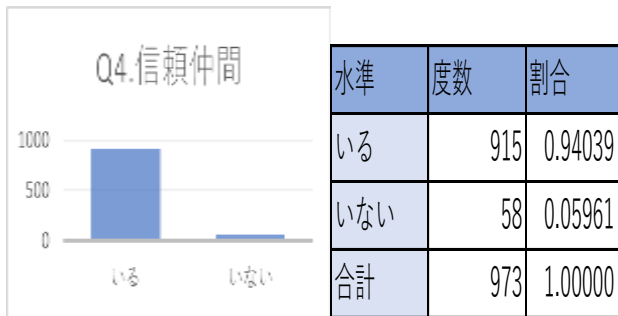
このセクションでは、Q4（助け合える仲間）と、Q5（信頼できる教職員）に関する部分について結果を報告する。

Q4 本学の学生の中で、交流し、助け合えるような仲間はひとりでもいますか。 ①いる ②いない

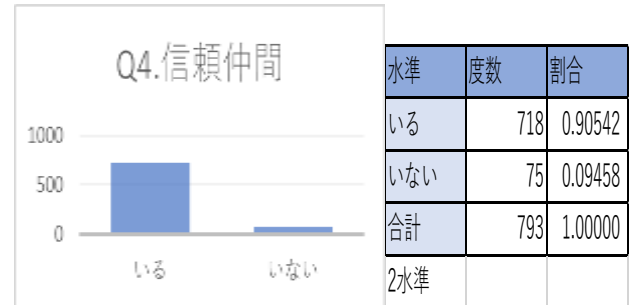
<全学>



参考：2024 年度



参考：2023 年度



<学年別>

学年	いる	いない
1	94.92%	5.08%
2	91.17%	8.83%
3	95.24%	4.76%
4	85.48%	14.52%

参考：2024 年度

学年	いる	いない
1	95.58%	4.42%
2	95.19%	4.81%
3	92.37%	7.63%
4	87.39%	12.61%

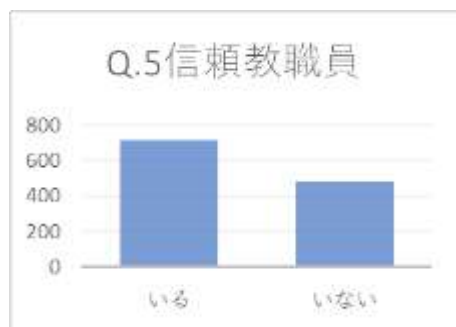
参考：2023 年度

学年	いる	いない
1	94.15%	5.85%
2	90.96%	9.04%
3	86.52%	13.48%
4	84.43%	15.57%

Q5 本学の教職員の中で、信頼できるまたは比較的気楽に話せる教職員はひとりでもいますか。

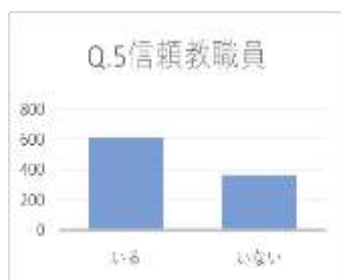
- ① いる ② いない

<全学>



水準	度数	割合
いる	715	0.59633
いない	484	0.40367
合計	1199	1.00000

参考：2024 年度



水準	度数	割合
いる	608	0.62423
いない	366	0.37577
合計	974	1.00000

参考：2023 年度



水準	度数	割合
いる	512	0.64403
いない	283	0.35597
合計	795	1.00000
2水準		

<学年別>

学年	いる	いない
1	55.6%	44.4%
2	55.5%	44.5%
3	75.6%	24.4%
4	67.7%	32.3%

参考：2024 年度

学年	いる	いない
1	57.1%	42.9%
2	56.3%	43.8%
3	78.6%	21.4%
4	78.5%	21.5%

参考：2023 年度

学年	いる	いない
1	59.3%	40.7%
2	56.4%	43.6%
3	76.8%	23.2%
4	76.9%	23.1%

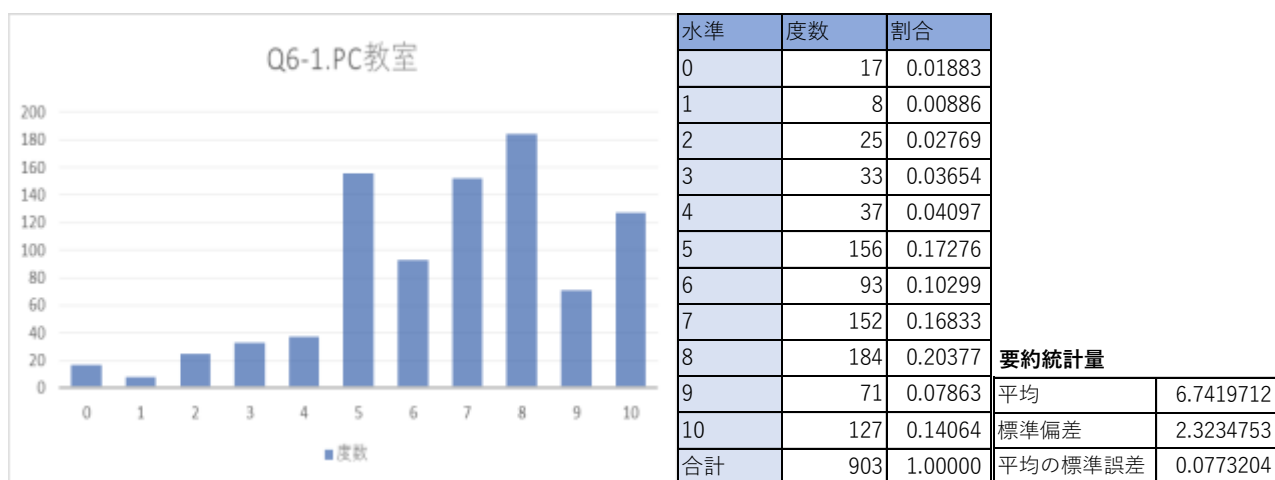
教職員に関しては全体で約 60%が「いる」と答えたが、過去 3 年間で減少し続けている。学科別にみると顕著な差がある。学年別には、昨年度までと同様 1・2 年生と 3・4 年生の間に顕著な差がある。

4. 施設等満足度

このセクションでは、Q6（施設等満足度）と Q7（施設等の改善希望）に関する部分について結果を報告する。

Q6 次のそれぞれの事項に対する満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の 11 段階で選んでください。利用したことがない場合は、何も選択しないでください。

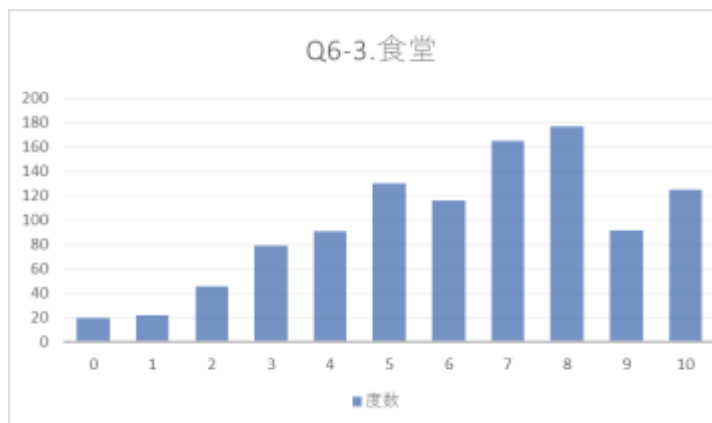
6.1 PC 教室



6.2 Wi-Fi などオンライン授業環境



6.3 食堂

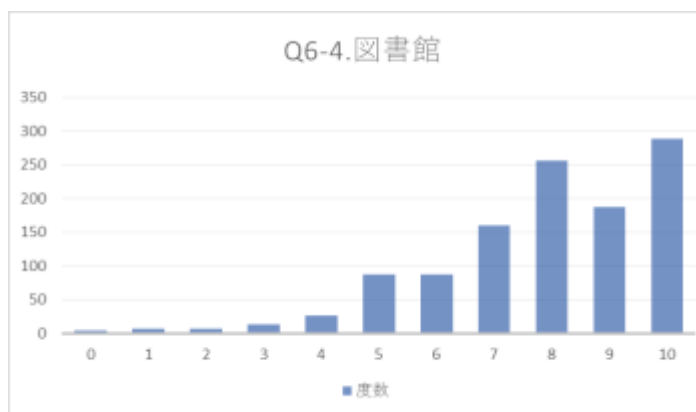


水準	度数	割合
0	20	0.01881
1	22	0.02070
2	46	0.04327
3	79	0.07432
4	91	0.08561
5	130	0.12230
6	116	0.10913
7	165	0.15522
8	177	0.16651
9	92	0.08655
10	125	0.11759
合計	1063	1.00000

要約統計量

平均	6.3123236
標準偏差	2.5307718
平均の標準誤差	0.0776223

6.4 図書館

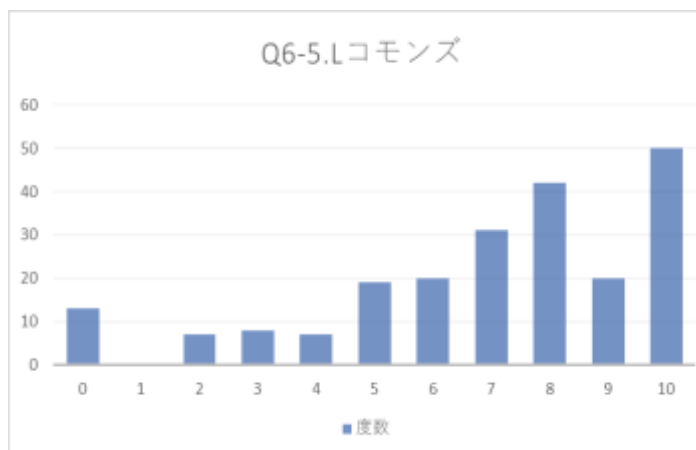


水準	度数	割合
0	4	0.00356
1	7	0.00623
2	7	0.00623
3	14	0.01246
4	26	0.02313
5	87	0.07740
6	87	0.07740
7	160	0.14235
8	256	0.22776
9	187	0.16637
10	289	0.25712
合計	1124	1.00000

要約統計量

平均	7.8870107
標準偏差	1.9414587
平均の標準誤差	0.0579089

6.5 ラーニング・commons

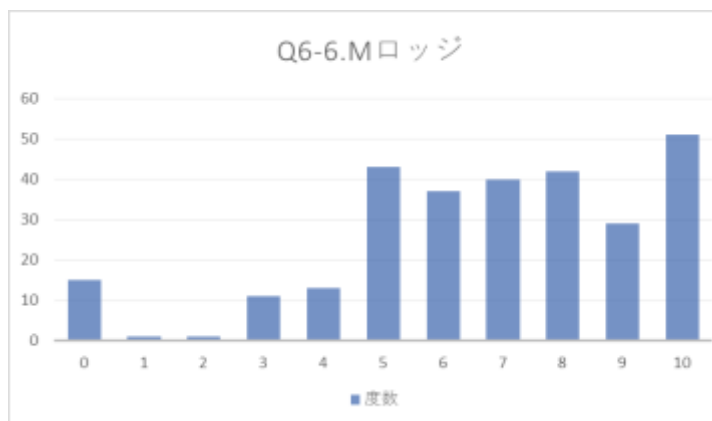


水準	度数	割合
0	13	0.05991
1	0	0.00000
2	7	0.03226
3	8	0.03687
4	7	0.03226
5	19	0.08756
6	20	0.09217
7	31	0.14286
8	42	0.19355
9	20	0.09217
10	50	0.23041
合計	217	1.00000

要約統計量

平均	6.9769585
標準偏差	2.7748748
平均の標準誤差	0.1883708

6.6 M ロッジ

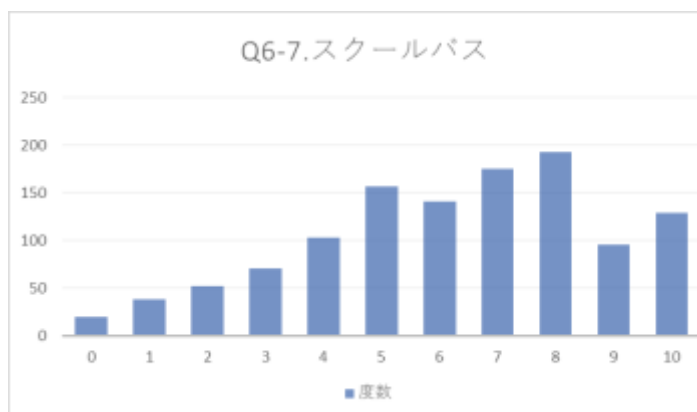


水準	度数	割合
0	15	0.05300
1	1	0.00353
2	1	0.00353
3	11	0.03887
4	13	0.04594
5	43	0.15194
6	37	0.13074
7	40	0.14134
8	42	0.14841
9	29	0.10247
10	51	0.18021
合計	283	1.00000

要約統計量

平均	6.7561837
標準偏差	2.5898529
平均の標準誤差	0.1539508

6.7 スクールバス

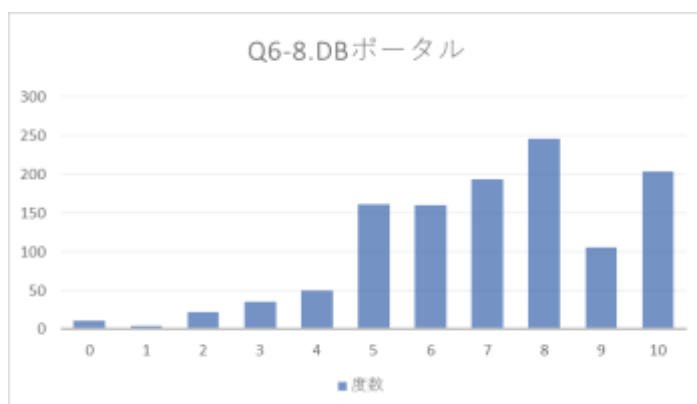


水準	度数	割合
0	20	0.01702
1	38	0.03234
2	52	0.04426
3	71	0.06043
4	103	0.08766
5	157	0.13362
6	141	0.12000
7	175	0.14894
8	193	0.16426
9	96	0.08170
10	129	0.10979
合計	1175	1.00000

要約統計量

平均	6.2306383
標準偏差	2.5302421
平均の標準誤差	0.0738147

6.8 DB ポータル

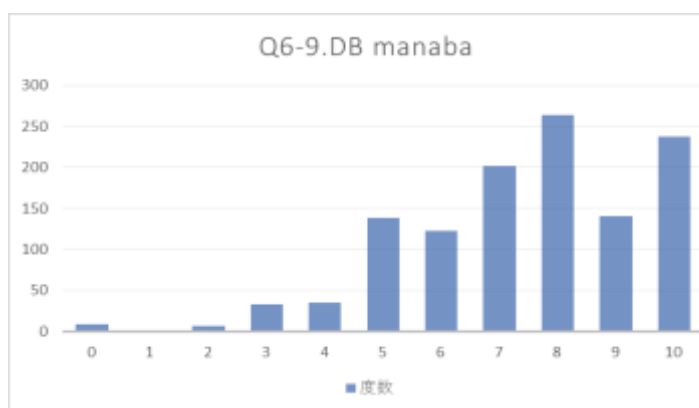


水準	度数	割合
0	11	0.00923
1	4	0.00336
2	22	0.01846
3	36	0.03020
4	50	0.04195
5	161	0.13507
6	160	0.13423
7	193	0.16191
8	246	0.20638
9	106	0.08893
10	203	0.17030
合計	1192	1.00000

要約統計量

平均	7.0671141
標準偏差	2.1586860
平均の標準誤差	0.0625247

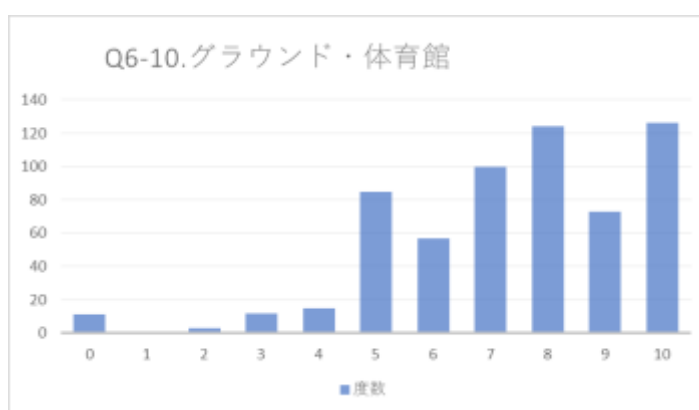
6.9 DB manaba



水準	度数	割合
0	9	0.00756
1	2	0.00168
2	7	0.00588
3	33	0.02773
4	35	0.02941
5	138	0.11597
6	123	0.10336
7	202	0.16975
8	264	0.22185
9	140	0.11765
10	237	0.19916
合計	1190	1.00000

要約統計量	
平均	7.4277311
標準偏差	2.0385538
平均の標準誤差	0.0590947

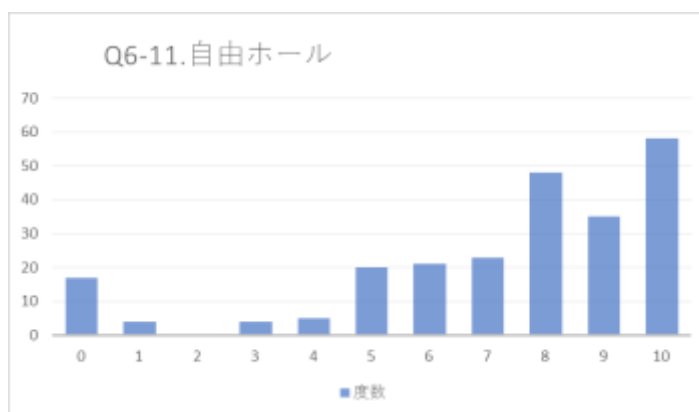
6.10 総合グラウンド・総合体育館



水準	度数	割合
0	11	0.01812
1	1	0.00165
2	3	0.00494
3	12	0.01977
4	15	0.02471
5	85	0.14003
6	57	0.09390
7	100	0.16474
8	124	0.20428
9	73	0.12026
10	126	0.20758
合計	607	1.00000

要約統計量	
平均	7.3789127
標準偏差	2.1618415
平均の標準誤差	0.0877464

6.11 板橋校舎1号館地下1F自由ホール



水準	度数	割合
0	17	0.07234
1	4	0.01702
2	0	0.00000
3	4	0.01702
4	5	0.02128
5	20	0.08511
6	21	0.08936
7	23	0.09787
8	48	0.20426
9	35	0.14894
10	58	0.24681
合計	235	1.00000

要約統計量	
平均	7.2425532
標準偏差	2.8308141
平均の標準誤差	0.1846619

<平均と標準偏差の一覧>

	人数	平均	標準偏差
PC教室	903	6.74	2.32
オンライン環境	957	5.44	2.69
食堂	1063	6.31	2.53
図書館	1124	7.89	1.94
ラーニング・commons	217	6.98	2.77
Mロッジ	283	6.76	2.59
スクールバス	1175	6.23	2.53
DBポータル	1192	7.07	2.16
DB manaba	1190	7.43	2.04
グラウンド・体育館	607	7.38	2.16
自由ホール	235	7.24	2.83

参考：2024 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	695	6.73	2.30
オンライン環境	812	5.35	2.57
食堂	874	6.67	2.41
図書館	908	7.95	1.91
ラーニング・commons	166	6.49	3.01
Mロッジ	247	6.52	2.76
スクールバス	972	6.40	2.43
DBポータル	980	7.13	2.12
DB manaba	977	7.48	2.00
グラウンド・体育館	502	7.21	2.12
自由ホール	140	7.41	2.77

参考：2023 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	562	6.60	2.42
オンライン環境	694	4.96	2.64
食堂	703	6.52	2.51
図書館	742	7.80	2.00
ラーニング・commons	94	6.22	2.99
Mロッジ	191	6.59	2.49
スクールバス	783	6.25	2.45
DBポータル	801	6.91	2.16
DB manaba	801	7.41	1.99
グラウンド・体育館	355	7.18	2.22

昨年度と全く同一の回答者ではないので一概に比較はできないが、平均値に大きな変化は見られない。ただし、オンライン環境のそれは上昇傾向にはあるが、依然として低い傾向にある。

5. 施設等への要望 [自由記述]

このセクションでは、Q7（施設等への要望）に対する自由記述の結果を報告する。

Q7. Q6 の内容で、特に改善して欲しいことがあれば具体的に書いてください。

この設問には 279 件の実質的なコメントがあった。その内容と件数は以下の通りである。（ひとつのコメント内で複数の内容について触れている場合はそれぞれカウントしている。）

スクールバスについて	96 件
Wi-Fi 等ネット環境について	91 件
食堂等について	43 件
学内システムについて	20 件
図書館について	15 件
板橋自由ホールについて	13 件
PC（教室）について	9 件
体育施設等について	4 件
M ロッジについて	4 件
その他	17 件

<スクールバスについて(96 件)>

スクールバスについては 96 件のコメントがあった。圧倒的に多い意見は、(1) 本数が少ない・混雑している、(2) 運転手・スタッフの対応が悪い、(3) 久喜便・鴻巣便を増便してほしい、だった。また、新たなバス路線新設の要望や、不便と感じた時間帯などの具体的な意見も多数寄せられたため、担当部局に共有したい。

<Wi-Fi 等ネット環境について(91 件)>

昨年度までと同様、Wi-Fi 等ネット環境についての意見は、学内の Wi-Fi が繋がりにくい、というものであった。特に、学内システムを使用して出席登録をする際や、映像教材を視聴する際に困るとの声が多く寄せられた。具体的な場所も寄せられたので担当部局とも共有していきたい。なお、本学では、過去の本調査の回答を受け、Wi-Fi 設備の増強に取り組んでいるが、インターネット環境の整備については引き続き学生の強い要望があることがわかる。

<食堂等について(43 件)>

食堂等については、昨年同様に (1) 値段が高い、(2) メニューに不満がある、(3) 混雑している・待ち時間が長い、という声が多かった。

<学内システムについて(20件)>

主に見られたのはDB ポータルに関するコメントと、DB manaba に関するコメントだった。

DB ポータルについては、(1) メッセージの通知がわかりづらい、埋もれてしまい見逃してしまう(2) ページが見つからない、(3) スマホ版の機能を充実してほしい、などの声が多い。

DB manaba については、(1) メッセージの通知がわかりづらい、(2) 入力内容が消える、との声があった。

また、共通して学内 Wi-Fi がつながりにくく、機能が十分に使えないという意見とスマホでは使いづらいためアプリ版を望むとの声があった。

<図書館について(15件)>

施設・設備に関するコメントが多く、特に、充電可能な場所の増設を希望する意見が多かった。

<板橋校舎自由ホールについて(13件)>

板橋校舎自由ホールについては以下のコメントがあった。(抜粋)

- ・図書館や自由ホールなどの開館時間が短い。とても学習環境が充実しているのにも関わらず、施設を利用できる時間が短いのは非常に残念である。自由ホールだけでもいいので夜の 21:00~22:00 頃まで利用できる時間を延長してほしい。
- ・板橋の地下ルームは、勉強したい時に騒がれると勉強の妨げになるので、勉強と談話スペースを分離してほしい。
- ・板橋校舎 1 号館地下 1F の自由ホールのなかの個室スペースの数をもう少し増やしてほしい。(理由：就活関係の web 説明会や web 面接で使える場所が他にキャンパス内にないため)

(原文ママ)

<PC(教室)について(9件)>

PC 関係では以下のコメントがあった。(抜粋)

- ・PC 教室はデスク狭すぎてマウス動かすのがともしんどい。もっとマウス動かせるスペースを設けてほしい。
- ・大学の pc がおそらくメモリ不足だと思うが、すごく重いことがあるのでメモリ増設などを考えてほしい。
- ・PC 室は椅子を動かせるようになると良いと思う。パソコンとの距離が近いので、授業が終わるとどっと目の疲労を感じた。

(原文ママ)

<体育施設等について(4件)>

体育施設等について、以下のコメントがあった。(抜粋)

- ・体育館の利用を個人でも出来るようにしてほしい。
- ・体育館にエアコン設置してほしいです。
- ・体育館暑い

(原文ママ)

<M ロッジについて(4件)>

M ロッジについて、以下のコメントがあった。(抜粋)

- ・ M ロッジの消灯時間を遅くしてほしいです
 - ・ MLodge 高坂住みの条件を廃止してほしい
 - ・ M ロッジは安い、ドライバーくらいは備えつけてくれていいと思う、また最上階の展望デッキの証明が消えるのが早い、24 時までつけておいてほしい or 手動でオンオフできるスイッチがほしい
- (原文ママ)

<その他(17件)>

その他に、睡眠がとれる場所が欲しい、充電できる場所を増やしてほしい、自習スペースを増やしてほしい、などの様々な声があった。

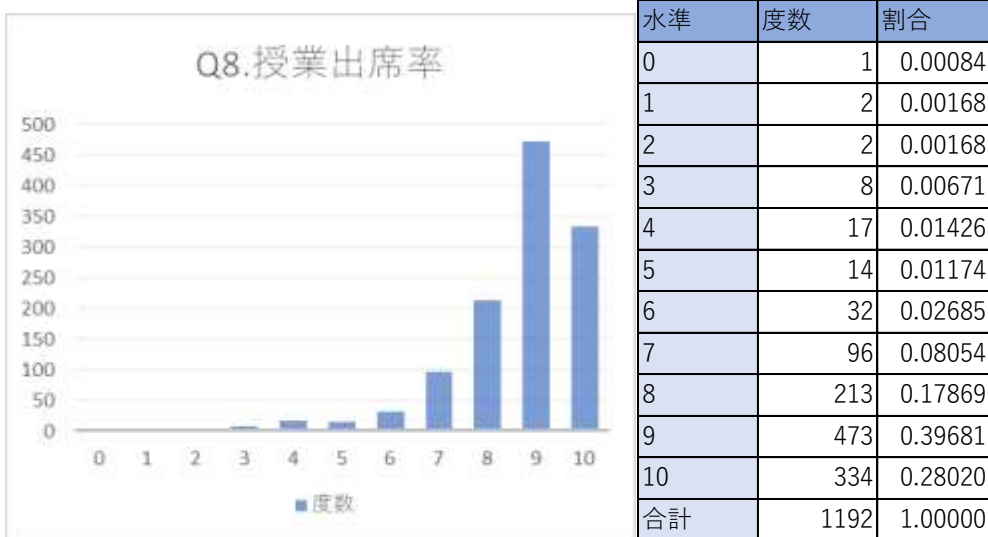
6. 学修状況

このセクションでは、Q8（授業の出席状況）と、Q9（出席状況が悪い理由）、Q10（平均的な学習時間）に関する部分について結果を報告する。

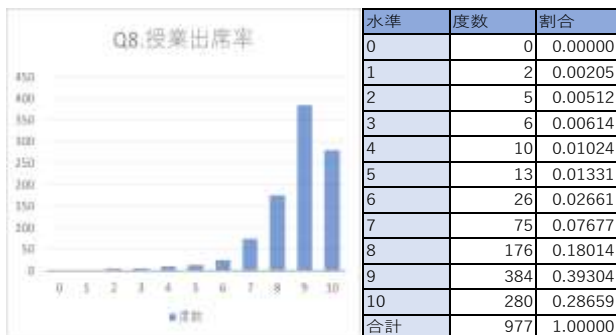
【日常の学修状況】

Q8 授業への平均的な出席状況はどの程度ですか。0(0%出席)～10(100%出席)の11段階で選んでください。

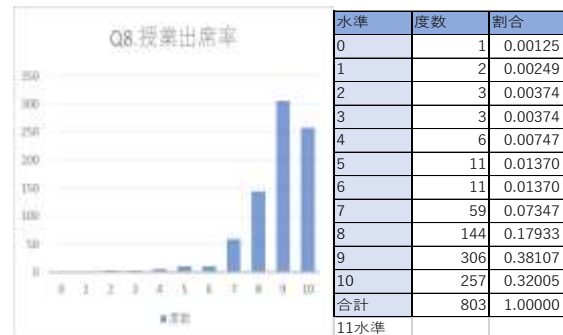
<全学>



参考：2024 年度



参考：2023 年度



全学の回答分布の最頻値は9であり、9と10で約68%を占めている。昨年度と比較して、傾向および数値に大きな変化は見られない。これは、昨年度まで3年連続で下がっていた出席率が踏みとどまったものとも読み取れる。

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	589	8.69	1.39
2	313	8.68	1.39
3	167	8.64	1.43
4	123	8.59	1.42

参考：2024 年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	451	8.61	1.48
2	273	8.75	1.27
3	132	8.88	1.31
4	121	8.57	1.50

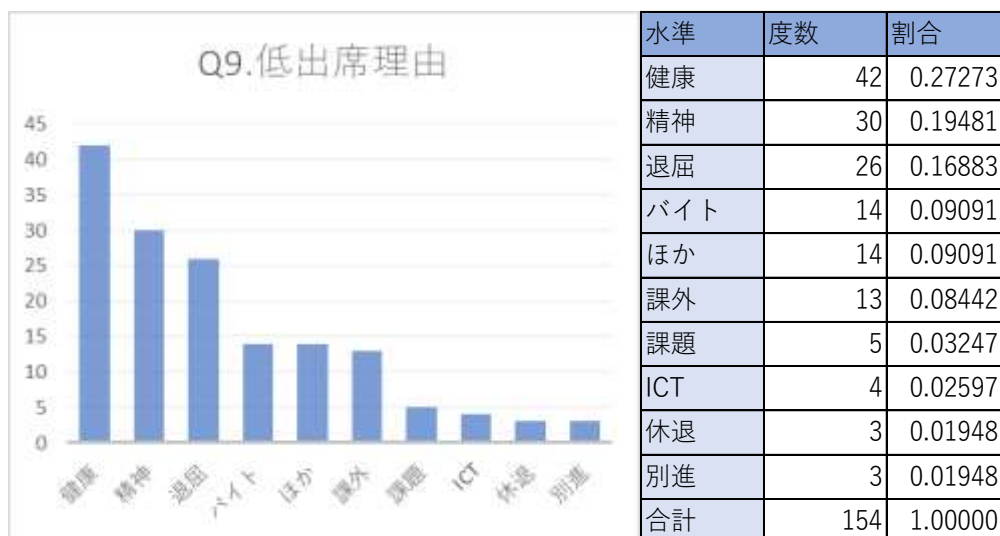
参考：2023 年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	346	8.80	1.30
2	192	8.82	1.12
3	141	8.91	1.47
4	124	8.52	1.67

Q9 Q8 で 0～4 を選んだ方は、その理由を教えてください。(主なものを 2 つまで)

- ①アルバイトに時間を費やしていた [バイト]
- ②課外活動（部活・サークル活動等）に時間を費やしていた [課外]
- ③授業がつまらなかった・やる気にならなかった [退屈]
- ④パソコン・インターネット環境が整わなかった [ICT]
- ⑤課題が多く、すべての授業に対応できなかった [課題]
- ⑥休学・退学を考えている [休退]
- ⑦精神的な悩み [精神]
- ⑧健康上の理由 [健康]
- ⑨別の進路を考えている [別進]
- ⑩その他 [ほか]

<全学>



参考：2024 年度



参考：2023 年度



最も頻度が高いのは「健康」で、次に「精神」と「退屈」が続いている。上の表で「割合」とあるのは、すべての理由を 1.00 としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は 107 人なので、回答した人数に対する割合は、以下のようになる。

過去 2 年の数値と比較して、「精神」を選択した件数も割合も共に大きく増加している。「退屈」の順位が下がる一方で、「健康」「精神」を回答する、つまりは身体的や精神的なものに起因することで授業を欠席している学生が増加していることが読み取れる。

健康	精神	退屈	バイト	ほか	課外	課題	ICT	休退	別進
42	30	26	14	14	13	5	4	3	3
39.3%	28.0%	24.3%	13.1%	13.1%	12.1%	4.7%	3.7%	2.8%	2.8%

参考：2024 年度

健康	退屈	精神	課外	バイト	ほか	課題	ICT	休退	別進
34	20	18	13	10	10	6	3	4	1
40.5%	23.8%	21.4%	15.5%	11.9%	11.9%	7.1%	3.6%	4.8%	1.2%

参考: 2023 年度

退屈	健康	バイト	ほか	精神	課題	課外	休退	別進	ICT
20	12	12	12	11	5	5	3	3	1
33.3%	20.0%	20.0%	20.0%	18.3%	8.3%	8.3%	5.0%	5.0%	1.7%

次に学年と理由のクロス集計を、度数と学年内パーセンテージで表示する。

<学年別> (度数)

学年	バイト	課外	退屈	ICT	課題	休退	精神	健康	別進	ほか	合計
1	7	6	11	3	3	1	18	29	1	6	85
2	2	3	6	0	1	1	6	7	1	3	30
3	3	1	6	0	1	1	2	3	1	1	19
4	2	3	3	1	0	0	4	3	0	4	20
合計	14	13	26	4	5	3	30	42	3	14	154

参考：2024 年度

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	19	10	10	5	2	6	1	7	3	0	63
2	11	3	4	1	0	0	2	1	0	1	23
3	1	3	1	0	0	2	2	4	0	0	13
4	3	4	3	4	1	2	1	1	1	0	20
合計	34	20	18	10	3	10	6	13	4	1	119

参考：2023 年度

学年By Q9.低出席理由											
学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	9	10	3	4	1	6	0	3	1	1	38
2	1	3	1	3	0	4	2	1	1	0	16
3	1	5	2	2	0	1	1	1	1	2	16
4	1	2	5	3	0	1	2	0	0	0	14
合計	12	20	11	12	1	12	5	5	3	3	84

<学年別> (学年内パーセンテージ)

学年	バイト	課外	退屈	ICT	課題	休退	精神	健康	別進	ほか
1	8.2%	7.1%	12.9%	3.5%	3.5%	1.2%	21.2%	34.1%	1.2%	7.1%
2	6.7%	10.0%	20.0%	0.0%	3.3%	3.3%	20.0%	23.3%	3.3%	10.0%
3	15.8%	5.3%	31.6%	0.0%	5.3%	5.3%	10.5%	15.8%	5.3%	5.3%
4	10.0%	15.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%	20.0%	15.0%	0.0%	20.0%

参考：2024 年度

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	30.2%	15.9%	15.9%	7.9%	3.2%	9.5%	1.6%	11.1%	4.8%	0.0%
2	47.8%	13.0%	17.4%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	4.3%
3	7.7%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	30.8%	0.0%	0.0%
4	15.0%	20.0%	15.0%	20.0%	5.0%	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%

参考: 2023 年度

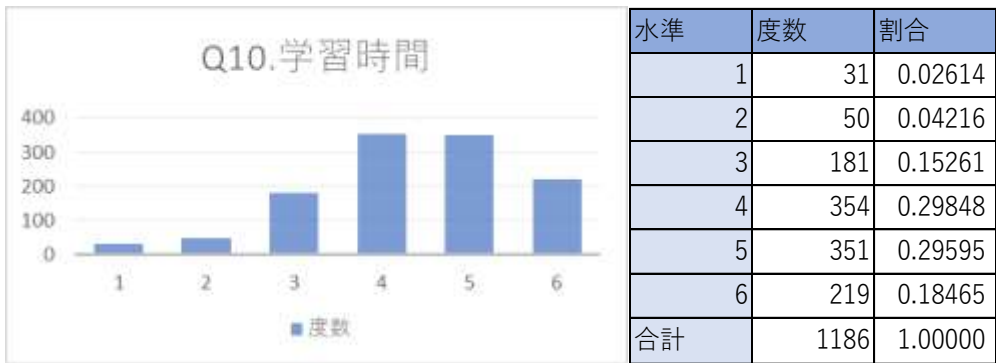
学年By Q9.低出席理由										
学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	23.7%	26.3%	7.9%	10.5%	2.6%	15.8%	0.0%	7.9%	2.6%	2.6%
2	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%
3	6.3%	31.3%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%
4	7.1%	14.3%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

度数に関して、1年生が85と突出しているが回答した母数もまた1年生が最も多いことの反映ともいえる。低出席理由を「健康」と回答した1年生の割合は約34%であり、低出席理由を回答した1年生のうち1/3以上の学生が選択している。

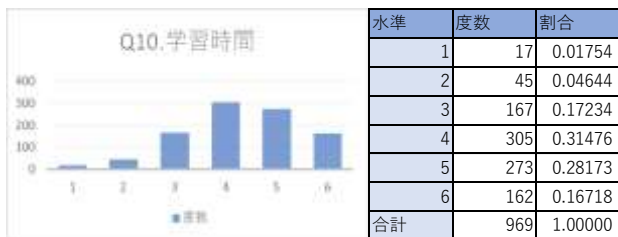
Q10 授業のための予習・復習・課題、資格取得のための準備等を合わせて、一日平均どのくらい学習しますか。

- ① 4時間以上 ② 3時間程度 ③ 2時間程度 ④ 1時間程度 ⑤ 1時間未満 ⑥ ほぼしない

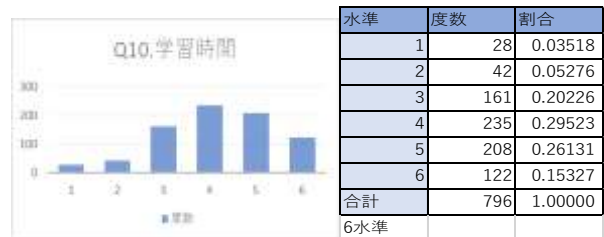
<全学>



参考：2024 年度



参考：2023 年度



最頻値は4（1時間程度）で、約30%を占める。これは、大学生の学習時間としては少ないと言わざるを得ない。そして、4（1時間程度）～6（ほぼしない）の割合は増加し続けており、8割近くに達している。次に学年別の分布を示す。

<学年別>

学年	1	2	3	4	5	6
1	4.8%	7.5%	29.1%	57.9%	58.6%	42.1%
2	3.8%	8.3%	36.5%	55.1%	60.9%	35.3%
3	9.6%	10.8%	26.3%	65.9%	64.7%	22.8%
4	4.9%	9.8%	27.6%	71.5%	50.4%	35.8%

参考：2024 年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	0.7%	5.3%	14.5%	34.1%	29.0%	16.5%
2	1.9%	3.3%	18.9%	27.0%	30.4%	18.5%
3	3.1%	5.3%	19.1%	32.8%	21.4%	18.3%
4	4.2%	4.2%	21.8%	30.3%	27.7%	11.8%

参考：2023 年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.3%	4.4%	21.3%	27.4%	30.0%	14.6%
2	1.6%	4.7%	20.9%	29.3%	24.1%	19.4%
3	8.2%	3.7%	20.1%	33.6%	22.4%	11.9%
4	4.1%	9.8%	16.4%	32.0%	23.0%	14.8%

学年別には1（4時間以上）の割合が最も高いのは3年生である。1と2の合計（すなわち3時間以上学習している）による学年の順序は1年=2年<4年<3年、1と2と3の合計（すなわち2時間以上学習している）による学年の順序は1年<4年<3年<2年であった。したがって、1・2年生の学習時間と3・4年生の学習時間の差が昨年度までより縮まってきているといえる。

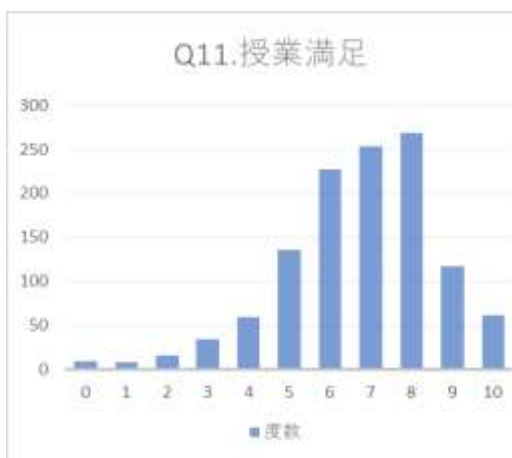
7. 授業満足度

このセクションでは、Q11（授業満足度）、Q12（満足度が高い理由）、Q13（満足度が低い理由）に関する部分について結果を報告する。

【これまでの授業への満足度】

Q11 本学でこれまで履修してきた授業に対する全体的な満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の11段階で選択してください。

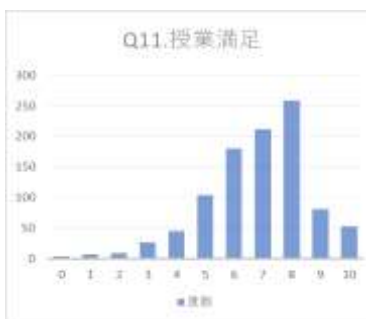
<全学>



水準	度数	割合	要約統計量	
0	9	0.00757	平均	6.7333894
1	8	0.00673		
2	16	0.01346	標準偏差	1.8741938
3	34	0.02860		
4	59	0.04962	平均の標準誤差	0.0543530
5	136	0.11438		
6	227	0.19092		
7	253	0.21278		
8	269	0.22624		
9	117	0.09840		
10	61	0.05130		
合計	1189	1.00000		

昨年度と同様、最頻値は8（80%満足）であり、ついで7（70%満足）と6（60%満足）が多かった。しかし0（0%満足）から10（100%満足）まで広い範囲に分布しており、平均値は6.73である。全体としては67.3%程度の満足、ということになる。

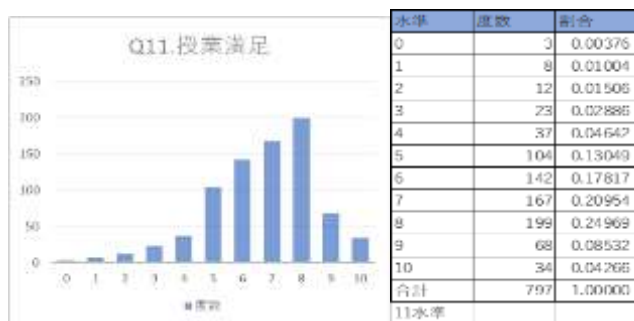
参考：2024年度



水準	度数	割合	要約統計量	
0	4	0.00408	平均	6.8307849
1	7	0.00714		
2	9	0.00917	標準偏差	1.7884869
3	27	0.02752		
4	45	0.04587	平均の標準誤差	0.0571020
5	104	0.10601		
6	180	0.18349		
7	212	0.21611		
8	259	0.26402		
9	81	0.08257		
10	53	0.05403		
合計	981	1.00000		

要約統計量	
平均	6.8307849
標準偏差	1.7884869
平均の標準誤差	0.0571020

参考：2023 年度



要約統計量	
平均	6.6925972
標準偏差	1.8391007
平均の標準誤差	0.0651443

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	588	6.64	1.90
2	311	6.63	1.87
3	167	6.95	1.74
4	123	7.14	1.85

参考：2024 年度

学年	数	平均	標準偏差
1	453	6.70	1.87
2	273	6.83	1.61
3	133	7.05	1.65
4	122	7.07	1.94

参考：2023 年度

学年	数	平均	標準偏差
1	343	6.68	1.84
2	190	6.55	1.78
3	140	6.69	1.80
4	124	6.95	1.96

1年<2年<3年<4年と、学年が上がるにつれ、満足度の平均値が上昇する傾向だった。

Q12 Q11 で7~10を選んだ方は、満足度が(比較的)高い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①授業内容がよい [内容]
- ②授業方法がよい [方法]
- ③担当教員が魅力的である [教員]
- ④単位の修得が容易である [容易]
- ⑤授業レベルが自分に合っている [レ適]
- ⑥教材がよい [教材]
- ⑦施設/設備がよい [設備]
- ⑧授業の成果が実感できる [成果]
- ⑨その他 [ほか]

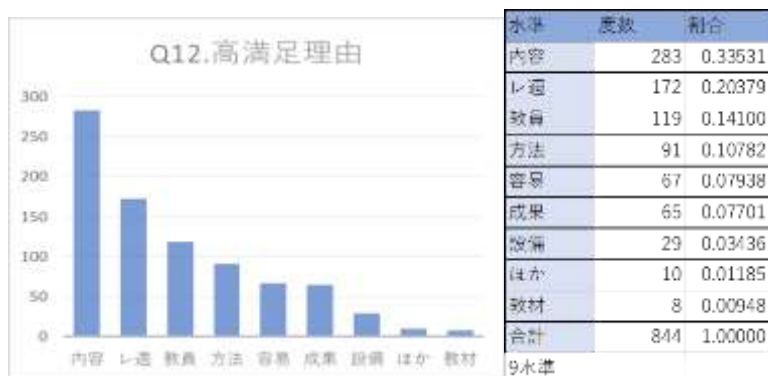
<全学>



参考：2024 年度



参考：2023 年度



引き続き、内容（授業内容がよい）＞レ適（授業レベルが自分に合っている）＞教員（担当教員が魅力的である） の上位3つの順位は共通である。

<学年別>

学年	内容	方法	教員	容易	レ適	教材	設備	成果	ほか
1	32.0%	10.0%	13.8%	8.3%	21.4%	1.5%	3.9%	8.2%	0.9%
2	35.0%	7.6%	15.1%	8.5%	21.8%	1.6%	3.5%	6.0%	0.9%
3	32.7%	7.7%	20.9%	5.6%	16.3%	0.0%	3.6%	11.2%	2.0%
4	36.1%	5.4%	19.0%	9.5%	17.7%	0.7%	2.0%	6.8%	2.7%

参考：2024 年度

学年	内容	レ適	教員	成果	容易	方法	設備	ほか	教材
1	33.7%	18.9%	13.5%	8.5%	9.8%	9.6%	3.3%	1.0%	1.7%
2	29.2%	20.0%	18.0%	6.8%	10.8%	9.5%	3.7%	1.4%	0.7%
3	32.9%	18.1%	22.6%	7.1%	6.5%	9.0%	1.9%	0.6%	1.3%
4	31.5%	18.5%	17.8%	8.2%	8.2%	8.2%	4.1%	0.7%	2.7%

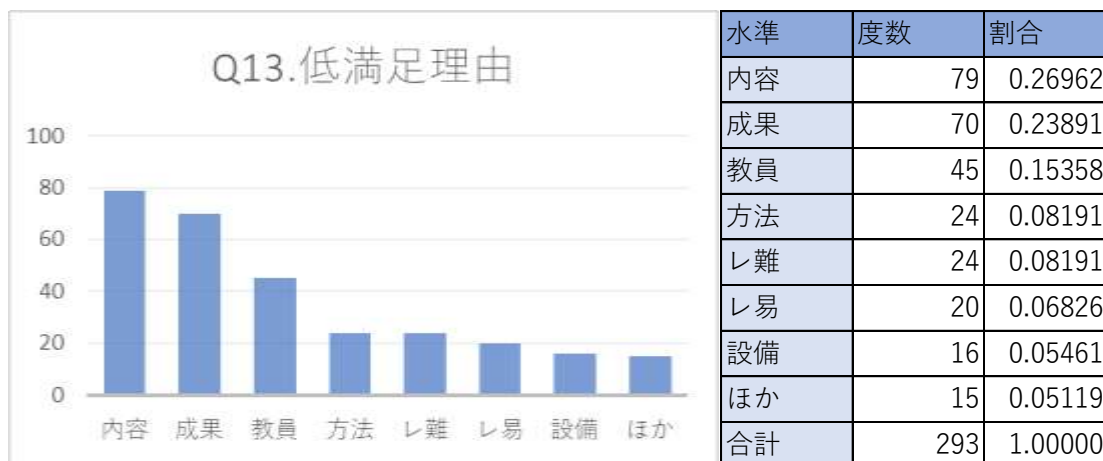
参考：2023 年度

学年	内容	レ適	教員	方法	成果	容易	設備	ほか	教材
1	33.4%	20.1%	12.5%	11.6%	8.2%	8.2%	4.2%	1.1%	0.6%
2	33.8%	22.7%	13.6%	11.6%	5.1%	7.6%	3.0%	1.5%	1.0%
3	33.8%	21.4%	17.5%	8.4%	8.4%	7.8%	1.9%	0.6%	0.0%
4	33.1%	16.5%	15.1%	10.1%	9.4%	7.9%	3.6%	1.4%	2.9%

Q13 Q11で0~4を選んだ方は、満足度が(比較的)低い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①授業内容に魅力がない [内容]
- ②授業方法になじめない [方法]
- ③担当教員と相性が悪い [教員]
- ④授業レベルが難しすぎる [レ難]
- ⑤授業レベルが簡単すぎる [レ易]
- ⑥施設/設備が貧弱である [設備]
- ⑦授業の成果が実感できない [成果]
- ⑧その他 [ほか]

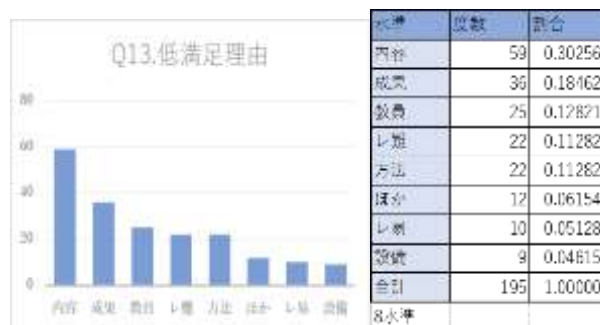
<全学>



参考：2024 年度



参考：2023 年度



昨年度と同様、満足度が低い場合にもっとも多い理由は「内容」(授業内容に魅力がない)で、次いで「成果」(授業の成果が実感できない)であった。「教員」と「方法」の順位が入れ替わり、「教員」の割合が増加したが、上位2つの主要な要因は変わっていない。

<学年別>

学年	内容	方法	教員	レ難	レ易	設備	成果	ほか
1	27.6%	7.2%	15.1%	7.9%	5.3%	7.2%	23.0%	6.6%
2	28.4%	9.1%	13.6%	9.1%	6.8%	3.4%	27.3%	2.3%
3	23.5%	5.9%	14.7%	11.8%	8.8%	5.9%	26.5%	2.9%
4	21.1%	15.8%	26.3%	0.0%	15.8%	0.0%	10.5%	10.5%

参考：2024 年度

学年	内容	成果	教員	ほか	レ易	レ難	設備	方法
1	27.9%	18.9%	10.7%	8.2%	6.6%	8.2%	8.2%	11.5%
2	23.6%	18.2%	14.5%	7.3%	7.3%	12.7%	0.0%	16.4%
3	41.2%	11.8%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%
4	32.1%	21.4%	3.6%	7.1%	7.1%	3.6%	17.9%	7.1%

参考：2023 年度

学年	内容	成果	教員	方法	レ難	ほか	レ易	設備
1	26.8%	14.6%	8.5%	14.6%	15.9%	6.1%	4.9%	8.5%
2	32.3%	16.9%	23.1%	7.7%	10.8%	3.1%	4.6%	1.5%
3	33.3%	30.0%	0.0%	10.0%	6.7%	10.0%	6.7%	3.3%
4	33.3%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%

学年別に見ると「内容」が多い学年、「成果」が多い学年、「教員」が多い学年など様々で、2024 年度、2023 年度と見比べてみるとパターンが異なっている。これらは学年の特徴というよりも、その年ごとの学生集団の特徴なのかも知れない。ただいずれにせよ回答率が低いので解釈の妥当性は限定的である。

8. DP 達成度

このセクションでは、Q14～Q22（DP 達成度）に関する部分について結果を報告する。

【DP 達成度】

以下の設問は、本学の「卒業認定・学位授与方針」に関連した問いです。本学では以下のような力を身につけた学生に卒業を認定すると定めています。現時点での自分の認識として、それぞれの力がどの程度身についていると思いますか。0(まったく身につけていない)～10(100%身につけている)の11段階で選んでください。

Q14 「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

Q15 「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

Q16 「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

Q17 「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

Q18 「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

Q19 「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

Q20 「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

Q21 「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

Q22 「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

次ページより各問に関して、全学の回答分布、全学の要約統計量、学年別の平均と標準偏差を示す。全学の回答に関しては、最頻値はすべての設問で5(50%身につけている)である。学年別に見るとほぼ全ての設問で、1年<2年<3年<4年と平均値が上昇している。

Q14「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

<全学>



水準	度数	割合
0	11	0.00939
1	13	0.01110
2	18	0.01537
3	63	0.05380
4	87	0.07430
5	254	0.21691
6	204	0.17421
7	240	0.20495
8	166	0.14176
9	50	0.04270
10	65	0.05551
合計	1171	1.00000

要約統計量	
平均	6.1383433
標準偏差	1.9710952
平均の標準誤差	0.0576009

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	577	5.74	1.97
2	308	6.21	1.81
3	164	6.77	1.83
4	122	6.98	2.02

Q15「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

<全学>



水準	度数	割合
0	22	0.01892
1	24	0.02064
2	33	0.02837
3	77	0.06621
4	113	0.09716
5	249	0.21410
6	197	0.16939
7	197	0.16939
8	138	0.11866
9	52	0.04471
10	61	0.05245
合計	1163	1.00000

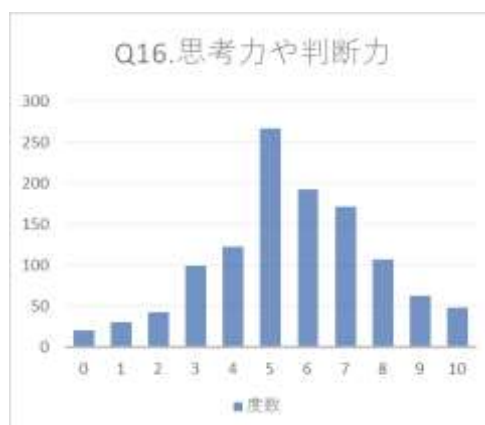
要約統計量	
平均	5.8134136
標準偏差	2.1680298
平均の標準誤差	0.0635734

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	574	5.50	2.15
2	304	5.88	2.08
3	164	6.27	2.16
4	121	6.52	2.19

Q16 「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

<全学>



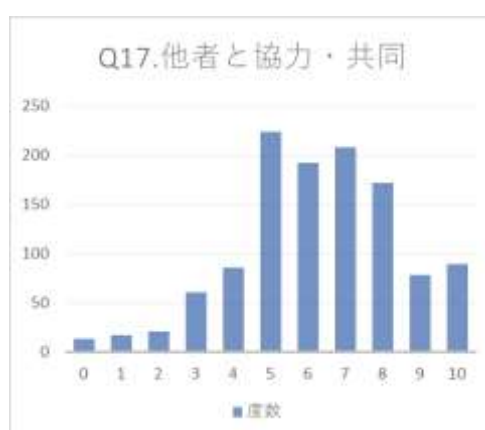
水準	度数	割合	要約統計量	
0	20	0.01720	平均	5.5821152
1	30	0.02580		
2	43	0.03697		
3	99	0.08512		
4	122	0.10490		
5	267	0.22958		
6	193	0.16595		
7	172	0.14789		
8	107	0.09200		
9	62	0.05331		
10	48	0.04127		
合計	1163	1.00000	標準偏差	2.1799737
			平均の標準誤差	0.0639236

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	574	5.24	2.11
2	303	5.76	2.14
3	165	5.95	2.15
4	121	6.26	2.36

Q17 「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

<全学>



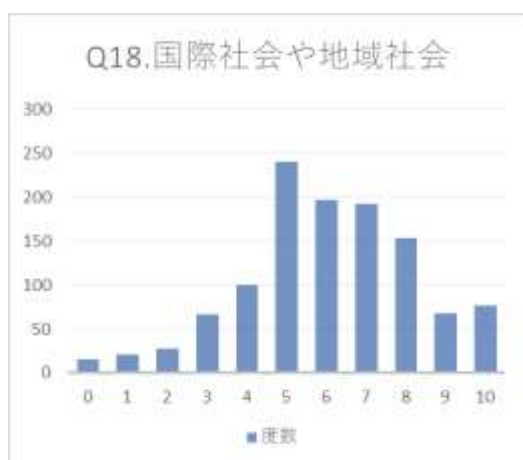
水準	度数	割合	要約統計量	
0	13	0.01118	平均	6.2721792
1	17	0.01462		
2	21	0.01806		
3	61	0.05245		
4	86	0.07395		
5	224	0.19261		
6	192	0.16509		
7	208	0.17885		
8	172	0.14789		
9	78	0.06707		
10	89	0.07653		
合計	1161	1.00000	標準偏差	2.1329601
			平均の標準誤差	0.0625989

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	573	5.97	2.09
2	302	6.34	2.02
3	165	6.79	2.09
4	121	6.83	2.40

Q18「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

<全学>



水準	度数	割合
0	16	0.01376
1	21	0.01806
2	28	0.02408
3	67	0.05761
4	100	0.08598
5	240	0.20636
6	197	0.16939
7	192	0.16509
8	153	0.13156
9	68	0.05847
10	77	0.06621
合計	1159	1.00000

要約統計量

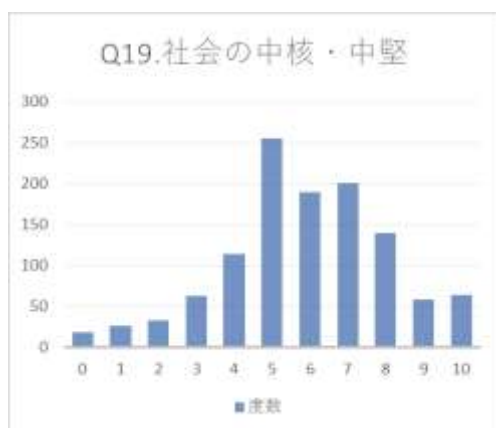
平均	6.0483175
標準偏差	2.1659563
平均の標準誤差	0.0636221

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	574	5.80	2.14
2	301	6.09	2.08
3	164	6.59	2.04
4	120	6.39	2.47

Q19「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

<全学>



水準	度数	割合
0	18	0.01548
1	26	0.02236
2	33	0.02837
3	63	0.05417
4	114	0.09802
5	255	0.21926
6	190	0.16337
7	201	0.17283
8	140	0.12038
9	58	0.04987
10	64	0.05503
合計	1162	1.00000

要約統計量

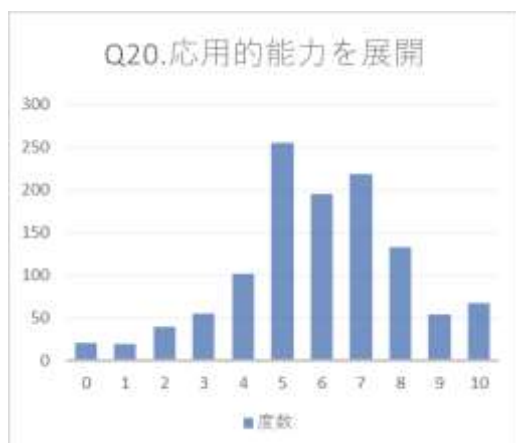
平均	5.8872633
標準偏差	2.1549749
平均の標準誤差	0.0632178

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	573	5.70	2.11
2	304	5.86	2.11
3	165	6.24	2.17
4	120	6.39	2.35

Q20 「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

<全学>



水準	度数	割合
0	21	0.01806
1	20	0.01720
2	39	0.03353
3	55	0.04729
4	102	0.08770
5	255	0.21926
6	195	0.16767
7	218	0.18745
8	133	0.11436
9	54	0.04643
10	67	0.05761
合計	1159	1.00000

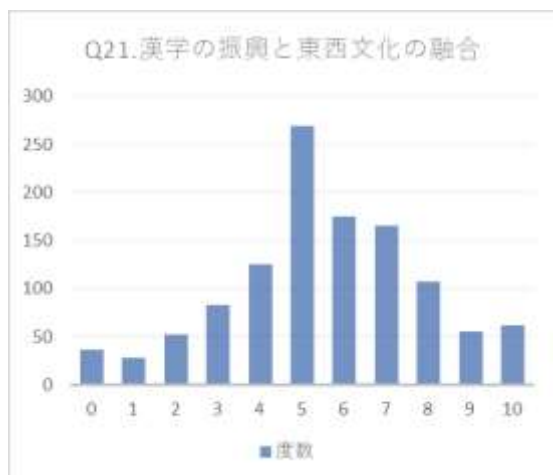
要約統計量	
平均	5.9206212
標準偏差	2.1462283
平均の標準誤差	0.0630426

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	575	5.70	2.06
2	301	5.98	2.09
3	165	6.29	2.24
4	118	6.33	2.42

Q21 「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

<全学>



水準	度数	割合
0	36	0.03095
1	28	0.02408
2	52	0.04471
3	83	0.07137
4	125	0.10748
5	269	0.23130
6	175	0.15047
7	165	0.14187
8	107	0.09200
9	56	0.04815
10	62	0.05331
合計	1158	1.00000

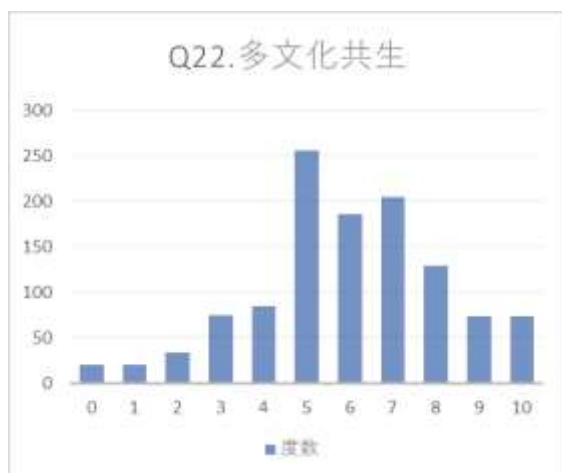
要約統計量	
平均	5.5362694
標準偏差	2.3108920
平均の標準誤差	0.0679087

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	574	5.36	2.22
2	302	5.49	2.28
3	163	5.78	2.44
4	119	6.17	2.50

Q22 「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

<全学>



水準	度数	割合
0	20	0.01720
1	20	0.01720
2	33	0.02837
3	75	0.06449
4	85	0.07309
5	256	0.22012
6	186	0.15993
7	205	0.17627
8	129	0.11092
9	73	0.06277
10	73	0.06277
合計	1155	1.00000

要約統計量

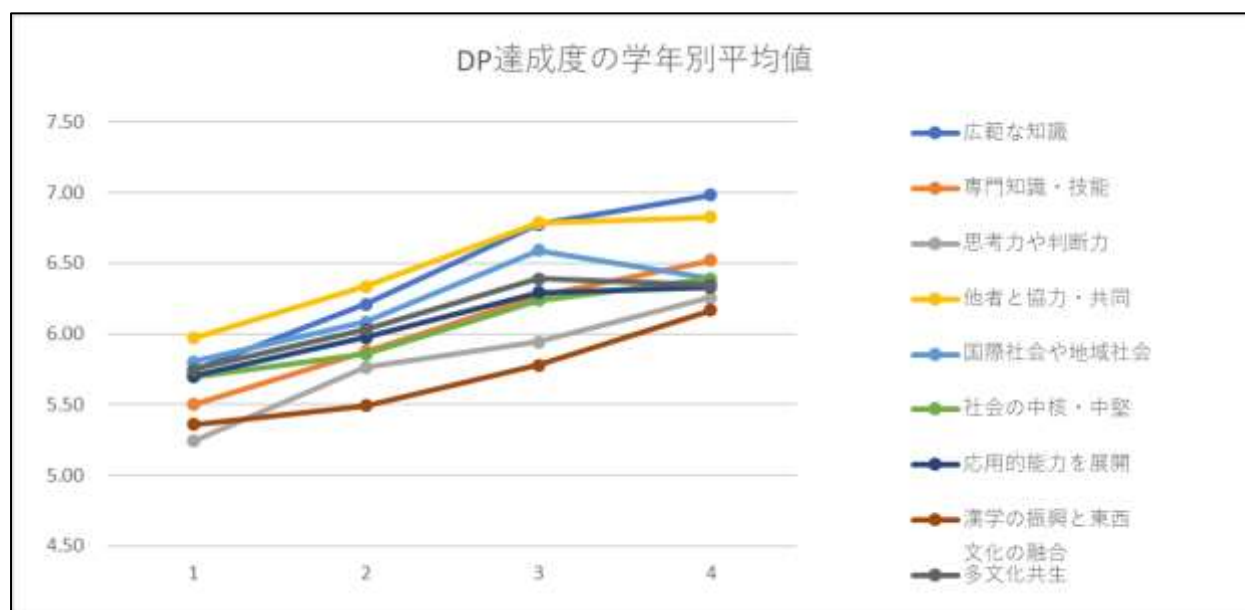
平均	5.9748918
標準偏差	2.1948921
平均の標準誤差	0.0645836

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	572	5.75	2.10
2	301	6.03	2.20
3	164	6.39	2.26
4	118	6.35	2.38

以上の DP 達成度の平均値学年推移を一つの表、グラフにまとめて表示すると以下のようになる。

	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	広 範 な 知 識	専 門 知 識 ・ 技 能	思 考 力 や 判 断 力	他 者 と 協 力 ・ 共 同	国 際 社 会 や 地 域 社 会	社 会 の 中 核 ・ 中 堅	応 用 的 能 力 を 展 開	文 化 の 融 合 と 東 西	漢 学 の 振 興 と 多 文 化 共 生
学年									
1	5.74	5.50	5.24	5.97	5.80	5.70	5.70	5.36	5.75
2	6.21	5.88	5.76	6.34	6.09	5.86	5.98	5.49	6.03
3	6.77	6.27	5.95	6.79	6.59	6.24	6.29	5.78	6.39
4	6.98	6.52	6.26	6.83	6.39	6.39	6.33	6.17	6.35



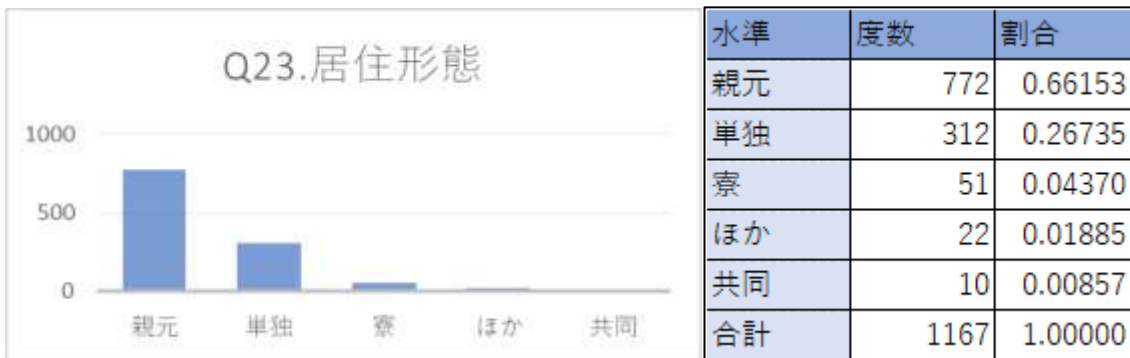
9. 生活・心身の悩み・経済状況など

このセクションでは、Q23～Q39 の、生活状況や悩みの有無、経済状況等に関する部分について結果を報告する。

【現在の生活状況】

Q23 今年度の居住形態はどれに当てはまりますか。最も期間が長いものを選んでください。

- ①親元で暮らしている [親元]
- ②ひとり暮らし [単独]
- ③学生寮・部活動の寮 [寮]
- ④ルームシェア・シェアハウス [共同]
- ⑤その他 [ほか]



学年	親元	単独	寮	ほか	共同
1	66.4%	25.9%	5.2%	1.7%	0.7%
2	69.8%	24.3%	3.3%	2.3%	0.3%
3	56.3%	34.7%	4.2%	3.0%	1.8%
4	69.2%	25.8%	3.3%	0.0%	1.7%

居住形態に関しては、約 66%が「親元で暮らしている」と答えた。このことから、昨年度までに引き続き本学において首都圏近郊からの進学・通学者が多いことがうかがえる。

Q24 通常時の主な通学手段は何ですか。最も利用時間が長いものを選んでください。

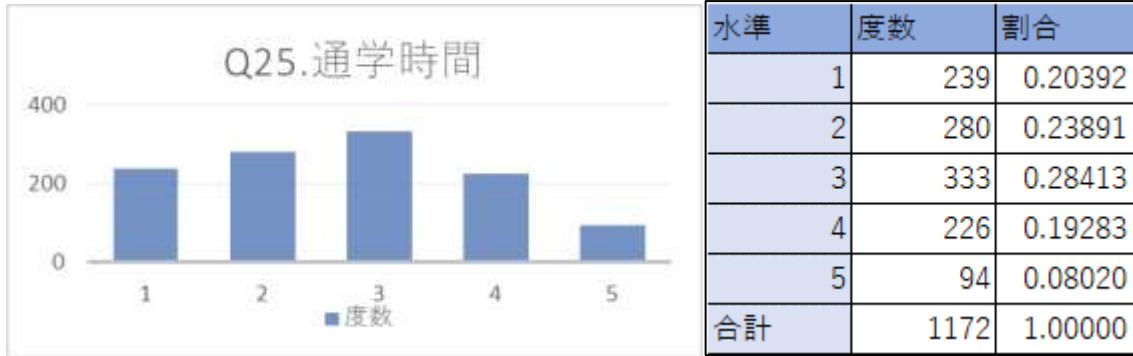
- ①電車 [電車]
- ②スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス） [高東]
- ③スクールバス（鴻巣便／久喜便） [鴻久]
- ④路線バス [路線]
- ⑤自動二輪・原付 [自二]
- ⑥自転車 [自転]
- ⑦徒歩 [徒歩]
- ⑧その他 [ほか]



通学手段に関して、約 63%が「電車」と答えた。次いで約 20%が「スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス）」であり、キャンパスの最寄り駅周辺に居住している学生の利用がうかがえる。また、約 9%が「スクールバス（鴻巣便／久喜便）」であり、このことから埼玉県東部地域居住学生の通学手段の需要が一定数あることが見てとれる。

Q25 通常時の通学所要時間(片道)はどの程度ですか。

- ①30分未満
- ②30分～1時間未満
- ③1時間～1時間30分未満
- ④1時間30分～2時間未満
- ⑤2時間以上

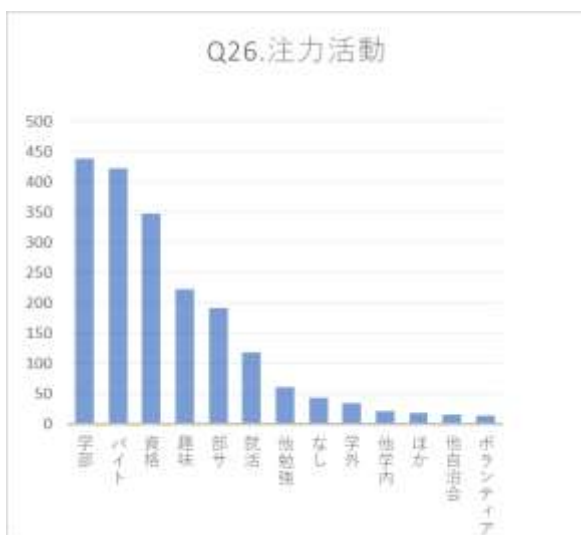


最頻値は3（1時間～1時間30分未満）で、約28%を占める。3と4と5（通学所要時間が1時間以上）の合計の割合が約56%であり、Q23において約66%が「親元で暮らしている」と回答していることから通学時間の長さとの関連が見てとれる。この傾向は過去3年間も確認された。

【取り組んでいること・課外活動】

Q26 現在、特に力を入れて取り組んでいることは何ですか。（主なものを2つまで）

- | | |
|----------------------------|----------|
| ①学部学科の勉強 | [学部] |
| ②資格試験の勉強 | [資格] |
| ③その他の勉強 | [他勉強] |
| ④部活動・サークル活動 | [部サ] |
| ⑤上記④以外の学生自治会の活動 | [他自治会] |
| ⑥そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティの活動 | [他学内] |
| ⑦ボランティア活動 | [ボランティア] |
| ⑧アルバイト | [バイト] |
| ⑨学外のコミュニティ等の活動 | [学外] |
| ⑩趣味の活動 | [趣味] |
| ⑪就職活動・インターンシップ | [就活] |
| ⑫上記以外 | [ほか] |
| ⑬とくに何にも力を入れていない | [なし] |



水準	度数	割合
学部	438	0.22473
バイト	422	0.21652
資格	348	0.17855
趣味	222	0.11390
部サ	192	0.09851
就活	119	0.06106
他勉強	61	0.03130
なし	44	0.02258
学外	34	0.01744
他学内	22	0.01129
ほか	18	0.00924
他自治会	15	0.00770
ボランティア	14	0.00718
合計	1949	1.00000

全学では、最頻値は「学部」（学部学科の勉強）で、約 22%を占め、次いで「バイト」（アルバイト）も約 22%であり、4 割以上が勉強とアルバイトに注力していることがわかる。次に学年別の分布を示す。

学年	学部	バイト	資格	趣味	部サ	就活	他勉強	なし	学外	他学内	ほか	他自治会	ボランティア
1	25.9%	23.7%	18.6%	12.3%	10.8%	0.5%	2.1%	1.4%	2.1%	0.8%	0.6%	1.0%	0.2%
2	24.2%	21.9%	18.8%	11.0%	11.2%	2.7%	2.3%	1.7%	1.5%	1.3%	1.3%	0.8%	1.2%
3	16.5%	15.4%	13.6%	5.1%	6.3%	31.6%	4.0%	2.9%	0.7%	1.1%	1.5%	0.4%	0.7%
4	7.0%	18.7%	17.5%	17.5%	6.4%	8.2%	9.9%	7.6%	1.8%	2.3%	0.6%	0.0%	2.3%

学年別には、「学部」（学部学科の勉強）と「バイト」（アルバイト）と「部サ」（部活動・サークル活動）の割合は 1・2 年生で高い傾向にある。学年の順序では 4 年 < 3 年 < 2 年 < 1 年であり、進級するほどこの割合が減少していることがわかる。なお、「就活」（就職活動・インターンシップ）が最も高いのは 3 年生で、「趣味」（趣味の活動）や「他勉強」（その他の勉強）が最も高いのは 4 年生である。

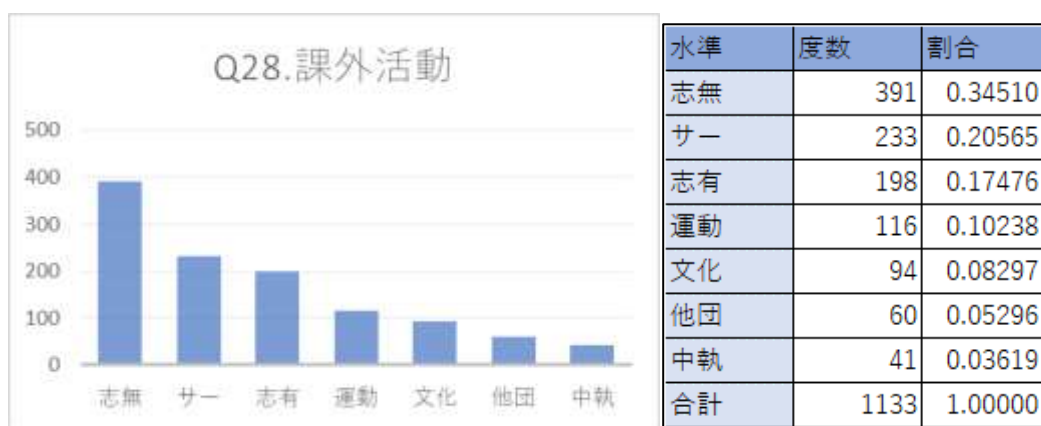
Q27 Q26 で「⑫上記以外」を選んだ方は、その内容について教えてください。（自由記述）

Q26 で「⑫上記以外」を選んだ学生は 18 名おり、そのうち 14 名が Q27 に実質的なコメントを書いていた。「車の免許取得」（資格学習、学部学科以外の学習等）、「就職前の事前学習」（就職・進学のための準備等）、「筋トレ」「株・投資」（その他）等のコメントが挙げられた。（コメント一部抜粋）

Q28 現在、学内の課外活動団体等(部活動・サークル活動・委員会活動等)に所属していますか。主に活動しているものを選んでください。引退した方は「所属している」ものとしてお答えください。

※組織：文化団体連合会・体育連合会・大東祭実行委員会・放送協会・全學應援團

- ①中央執行委員会・組織※・機関に所属している [中執]
- ②運動部に所属している [運動]
- ③文化部に所属している [文化]
- ④サークルに所属している(公認・非公認問わず) [サー]
- ⑤そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティに所属している [他団]
- ⑥所属する意志はあるが、所属していない [志有]
- ⑦所属する意志がなく、所属していない [志無]



最頻値は、「志無」(所属する意志がなく、所属していない)が約35%で、次いで「サー」(サークルに所属している)が約21%だった。昨年度は「志有」(所属する意思はあるが、所属していない)が21%あったことから、学生の課外活動が活発化していることがわかる。課外活動に参加していない学生の割合も昨年度約58%から約52%に減少している。

Q29 Q28で①～⑤を選んだ方は、課外活動で良かったと思うことを教えてください。(主なものを2つまで)

- ①よい指導者に出会えた [指導者]
- ②友人を得た [友人]
- ③居場所・帰属感を得た [居場所]
- ④愛校心を持つことができた [愛校]
- ⑤技術や知識の向上に役立った [技術]
- ⑥社会貢献ができた [貢献]
- ⑦人格形成に役立った [人格]
- ⑧健康増進に役立った [健康]
- ⑨将来の夢が持てた [将来]
- ⑩就職活動に役立った(役立ちそう) [就活]
- ⑪その他 [ほか]



最も頻度が高いのは、昨年度と同様「友人」(友人を得た)である。上の表で「割合」とあるのは、すべての回答を 1.00 としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は 553 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、回答者の約 70%が「友人」(友人を得た)を挙げていたことがわかる。このことから、共通の課外活動を通じた交友関係の構築に利点を感じた学生の割合が高かったことがうかがえる。

Q30 Q28 で⑥～⑦を選んだ方は、課外活動を行うことや、団体への入部や参加を考えるうえで障壁になること、抵抗を感じることは何ですか。(主なものを 2 つまで)

- ①通学距離との関係 [距離]
- ②学業との両立 [学業]
- ③アルバイトとの両立 [バイト]
- ④人間関係 [人間]
- ⑤集団生活に拘束されること [集団]
- ⑥費用がかかる [費用]
- ⑦怪我や健康面 [健康]
- ⑧学外の団体の方がいい [学外]
- ⑨ほかにやりたいことがある [他活動]
- ⑩入部制限がある [制限]
- ⑪その他 [ほか]



最も頻度が高いのは「距離」（通学距離との関係）である。この項目に回答した人数は 647 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、約 33%が「距離」（通学距離との関係）を挙げていることがわかる。次いで、「バイト」（アルバイトとの両立）が約 32%、「学業」（学業との両立）が約 26%と続いている。この傾向は昨年度から引き続き確認でき、自身の学生生活と両立することに障壁を感じて課外活動に参加できない学生が多いことがうかがえる。

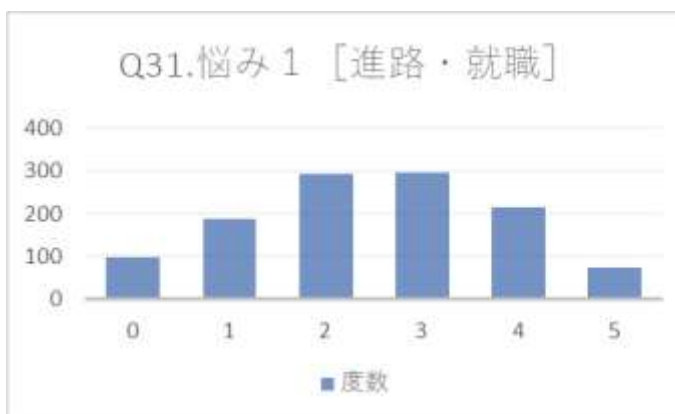
【不安・悩み】

Q31 次のそれぞれの事項に対する不安や悩みはどの程度ですか。0(不安なし)～5(耐え難いほど)の 6 段階で選んでください。

0 (不安なし) 1 (少し) 2 (多少) 3 (かなり) 4 (非常に) 5 (耐え難いほど)

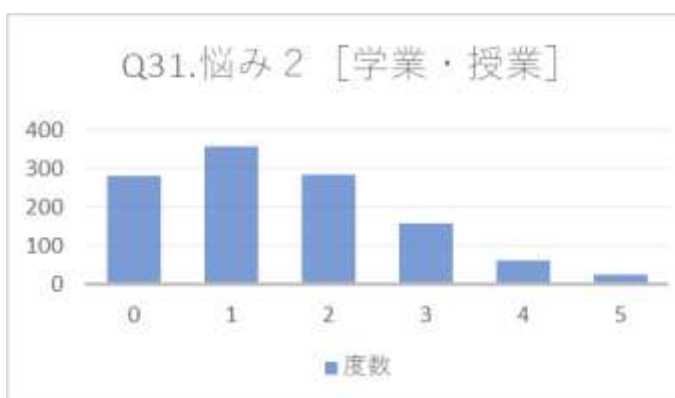
- ①進路・就職
- ②学業・授業
- ③留学
- ④心身の健康
- ⑤アルバイト先での問題
- ⑥経済的問題
- ⑦対人・友人関係
- ⑧課外活動
- ⑨家族関係
- ⑩性の悩み
- ⑪恋愛の悩み
- ⑫性格・能力
- ⑬人生観
- ⑭ハラスメント

<進路・就職>



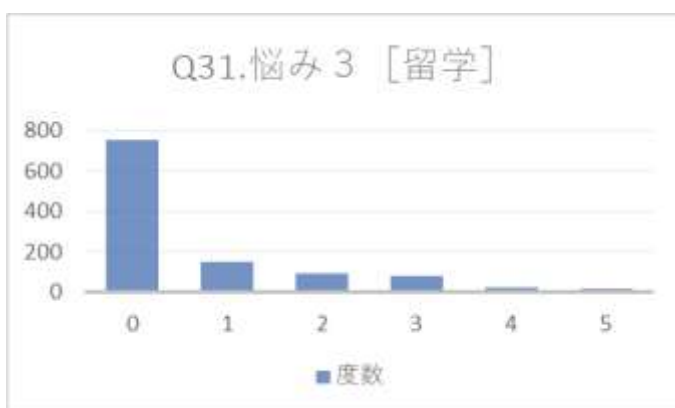
水準	度数	割合
0	99	0.08498
1	189	0.16223
2	293	0.25150
3	296	0.25408
4	215	0.18455
5	73	0.06266
合計	1165	1.00000

<学業・授業>



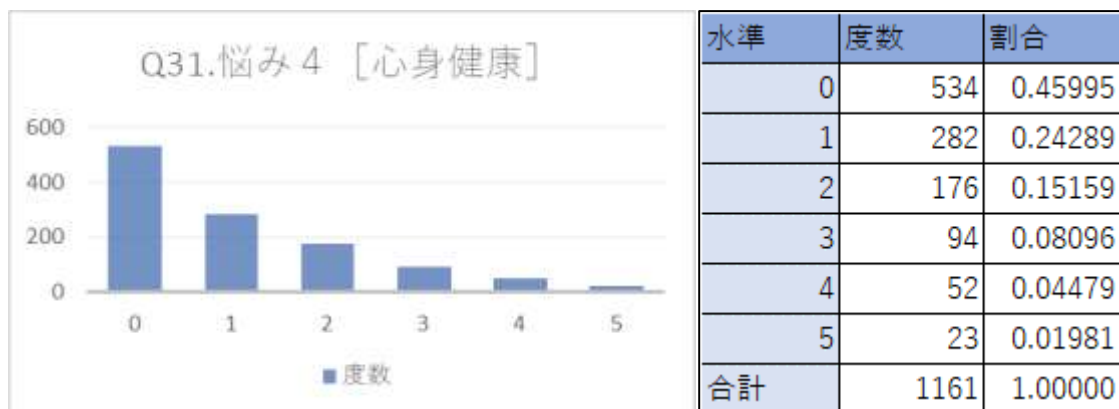
水準	度数	割合
0	279	0.23990
1	357	0.30696
2	285	0.24506
3	158	0.13586
4	60	0.05159
5	24	0.02064
合計	1163	1.00000

<留学>

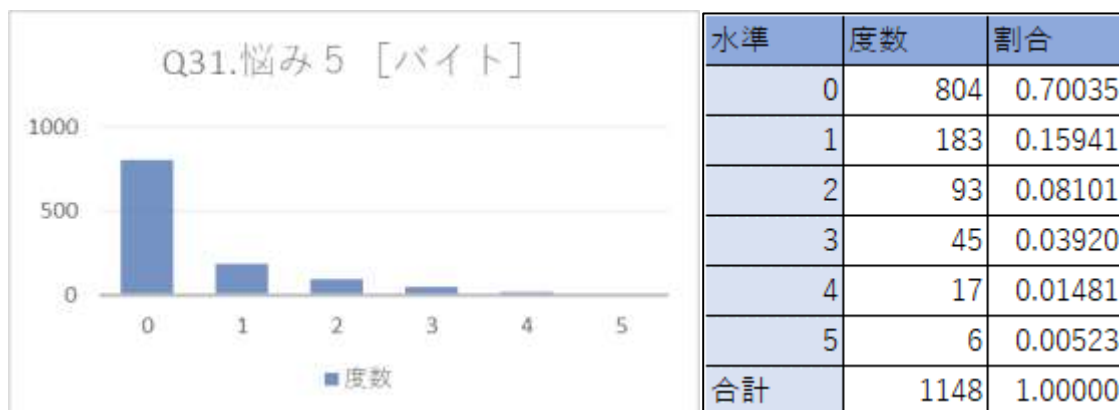


水準	度数	割合
0	755	0.66873
1	154	0.13640
2	97	0.08592
3	79	0.06997
4	27	0.02391
5	17	0.01506
合計	1129	1.00000

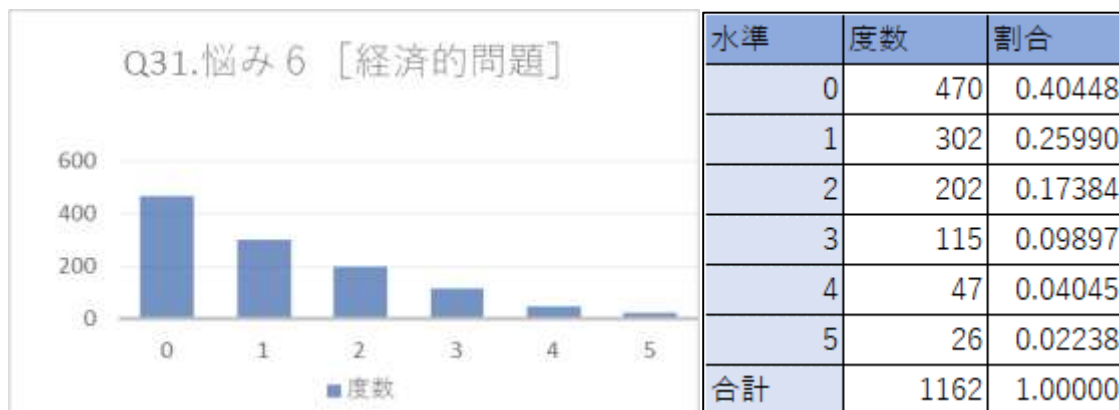
<心身の健康>



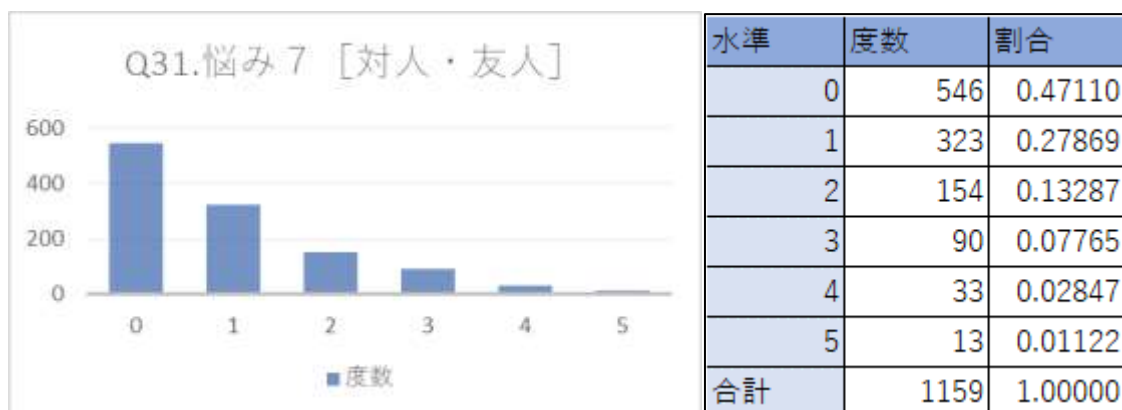
<アルバイト先での問題>



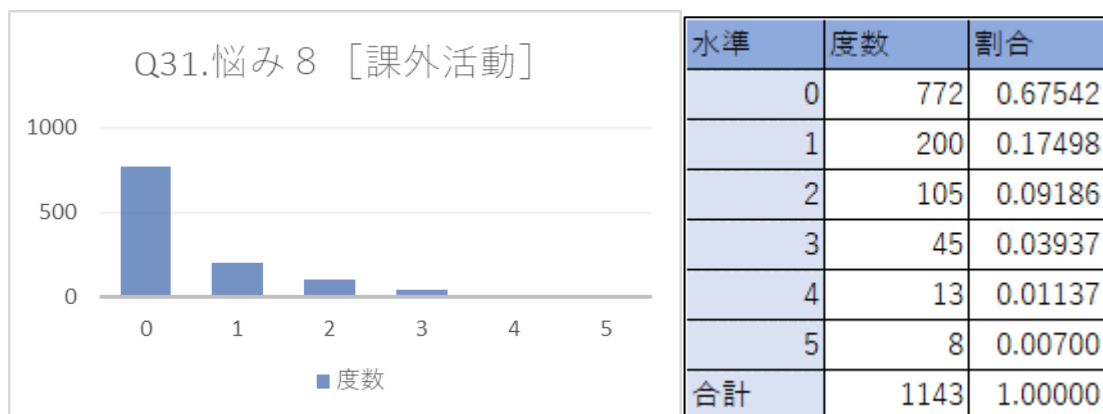
<経済的問題>



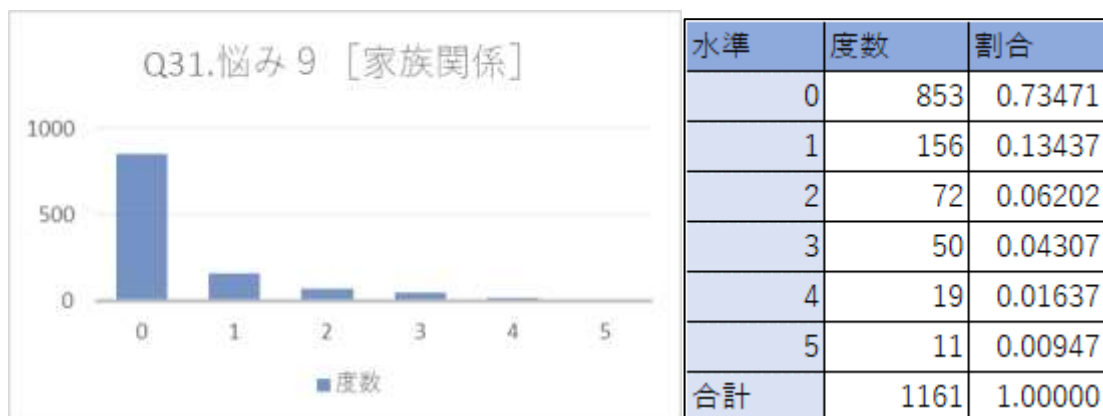
<対人・友人関係>



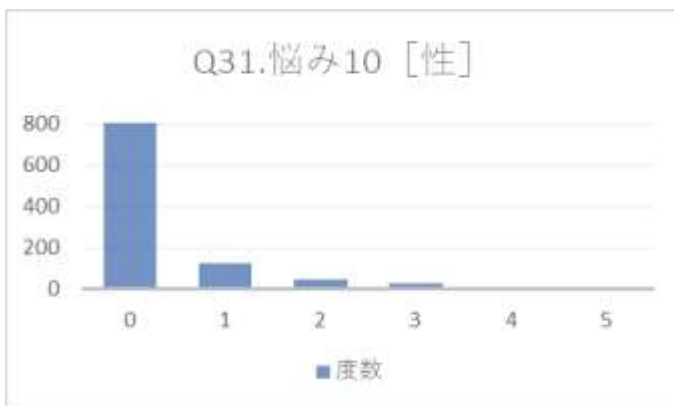
<課外活動>



<家族関係>

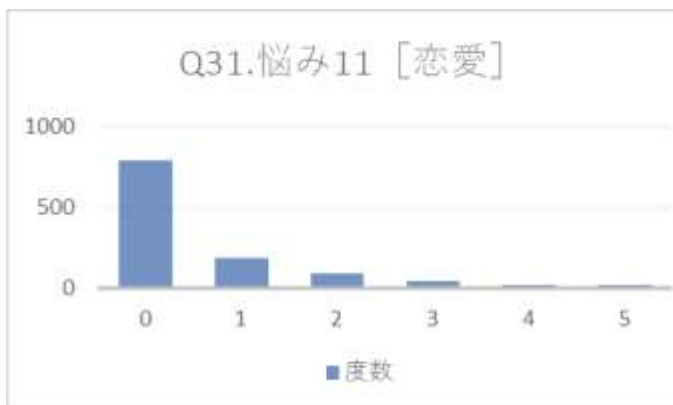


<性の悩み>



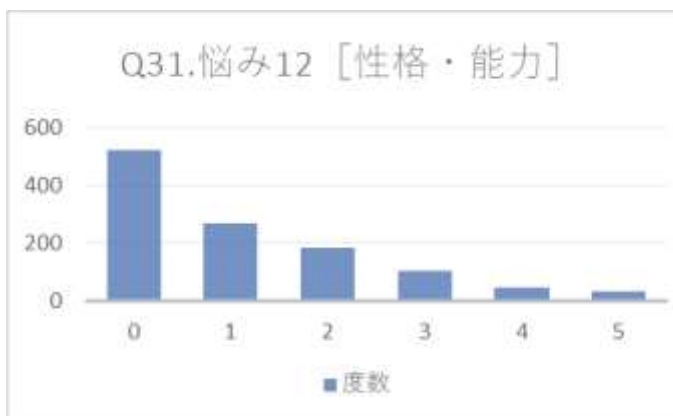
水準	度数	割合
0	931	0.81027
1	127	0.11053
2	47	0.04091
3	30	0.02611
4	8	0.00696
5	6	0.00522
合計	1149	1.00000

<恋愛の悩み>



水準	度数	割合
0	794	0.68804
1	190	0.16464
2	91	0.07886
3	44	0.03813
4	17	0.01473
5	18	0.01560
合計	1154	1.00000

<性格・能力>



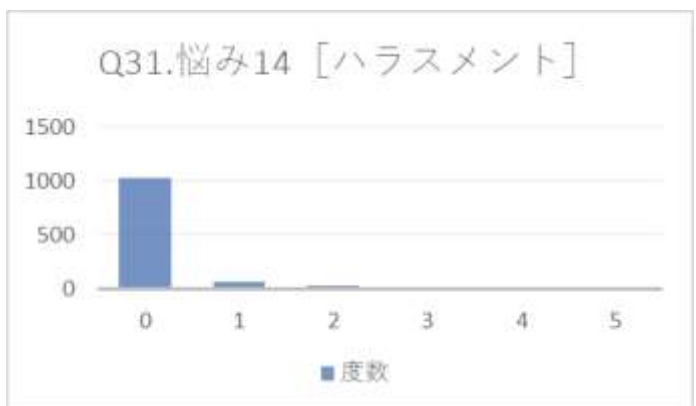
水準	度数	割合
0	522	0.45117
1	268	0.23163
2	185	0.15990
3	103	0.08902
4	46	0.03976
5	33	0.02852
合計	1157	1.00000

<人生観>



水準	度数	割合
0	547	0.47237
1	270	0.23316
2	175	0.15112
3	89	0.07686
4	47	0.04059
5	30	0.02591
合計	1158	1.00000

<ハラスメント>



水準	度数	割合
0	1021	0.89015
1	72	0.06277
2	34	0.02964
3	14	0.01221
4	4	0.00349
5	2	0.00174
合計	1147	1.00000

<平均値と標準偏差の一覧>

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	1165	2.48	1.35	0.04
悩み2	[学業・授業]	1163	1.51	1.25	0.04
悩み3	[留学]	1129	0.69	1.18	0.04
悩み4	[心身健康]	1161	1.07	1.28	0.04
悩み5	[バイト]	1148	0.52	0.96	0.03
悩み6	[経済的問題]	1162	1.18	1.29	0.04
悩み7	[対人・友人]	1159	0.95	1.16	0.03
悩み8	[課外活動]	1143	0.56	0.97	0.03
悩み9	[家族関係]	1161	0.50	1.01	0.03
悩み10	[性]	1149	0.32	0.80	0.02
悩み11	[恋愛]	1154	0.57	1.06	0.03
悩み12	[性格・能力]	1157	1.12	1.33	0.04
悩み13	[人生観]	1158	1.06	1.31	0.04
悩み14	[ハラスメント]	1147	0.18	0.60	0.02

参考：2024 年度

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	965	2.39	1.33	0.04
悩み2	[学業・授業]	964	1.46	1.24	0.04
悩み3	[留学]	938	0.63	1.17	0.04
悩み4	[心身健康]	965	1.08	1.28	0.04
悩み5	[バイト]	950	0.55	0.95	0.03
悩み6	[経済的問題]	965	1.18	1.32	0.04
悩み7	[対人・友人]	967	0.89	1.15	0.04
悩み8	[課外活動]	947	0.54	0.95	0.03
悩み9	[家族関係]	961	0.46	0.98	0.03
悩み10	[性]	958	0.31	0.77	0.02
悩み11	[恋愛]	960	0.57	1.01	0.03
悩み12	[性格・能力]	960	1.13	1.29	0.04
悩み13	[人生観]	961	1.04	1.30	0.04
悩み14	[ハラスメント]	953	0.15	0.57	0.02

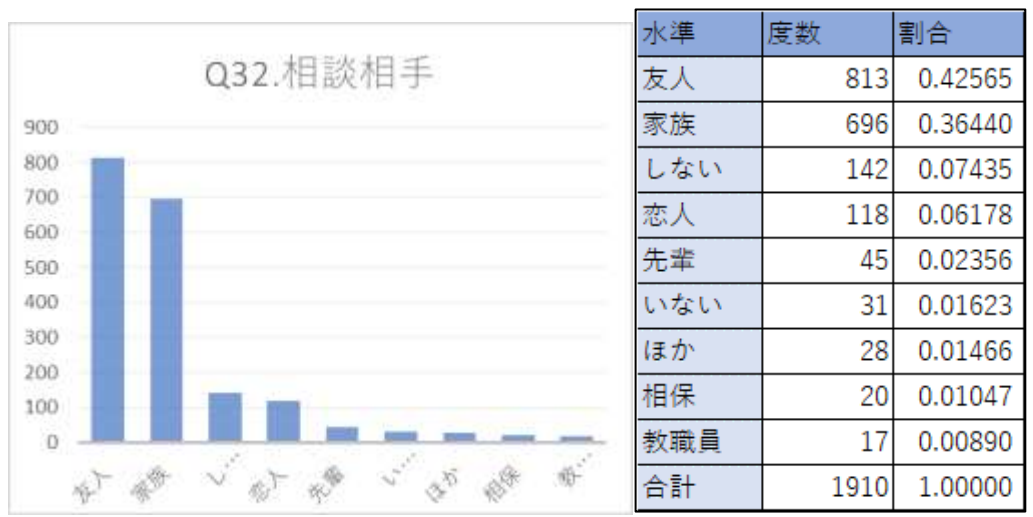
参考：2023 年度

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	784	2.49	1.36	0.05
悩み2	[学業・授業]	782	1.48	1.26	0.05
悩み3	[留学]	761	0.67	1.21	0.04
悩み4	[心身健康]	781	1.11	1.28	0.05
悩み5	[バイト]	775	0.53	0.94	0.03
悩み6	[経済的問題]	777	1.23	1.35	0.05
悩み7	[対人・友人]	777	0.91	1.13	0.04
悩み8	[課外活動]	773	0.55	0.94	0.03
悩み9	[家族関係]	778	0.43	0.89	0.03
悩み10	[性]	781	0.41	0.91	0.03
悩み11	[恋愛]	778	0.63	1.12	0.04
悩み12	[性格・能力]	778	1.22	1.33	0.05
悩み13	[人生観]	779	1.11	1.33	0.05
悩み14	[ハラスメント]	775	0.21	0.71	0.03

昨年度までと同様、「進路・就職」の平均値が格段に高い。かなり差はあるが次は「学業・授業」、「経済的問題」、「性格・能力」、「心身の健康」そして「人生観」と続き、ここまでが平均値 1.0 以上である。その他の項目の平均値は 1.0 未満ではあるが、平均値は低くても、ヒストグラムに示したように、すべての項目において 5（耐え難いほど）と回答している学生が存在していることはきちんと認識しなければならない。学生支援センターでは HP に「困った時/ヘルプが欲しい時」というページを設け (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/>)、さまざまなチャンネルを通じて学生の支援を試みているが、そのようなチャンネルについてより一層の周知を試みたいと考える。

Q32 不安や悩みを相談している相手は誰ですか(主な相手を 2 つまで)

- ①家族 [家族]
- ②友人 [友人]
- ③恋人 [恋人]
- ④先輩 [先輩]
- ⑤大学の教職員 [教職員]
- ⑥学生相談室・保健室 [相保]
- ⑦相談できるひとがいない [いない]
- ⑧他人には相談しない [しない]
- ⑨その他 [ほか]



相談相手として「友人」が約 43%、「家族」が約 36%と圧倒的に割合が大きい。一方で「教職員」（大学の教職員）と「相保」（学生相談室・保健室）については約 2%程度に留まっている。この結果をみると、学生の相談がしやすい仕組みづくりに関して、より検討していく必要があると考えられる。

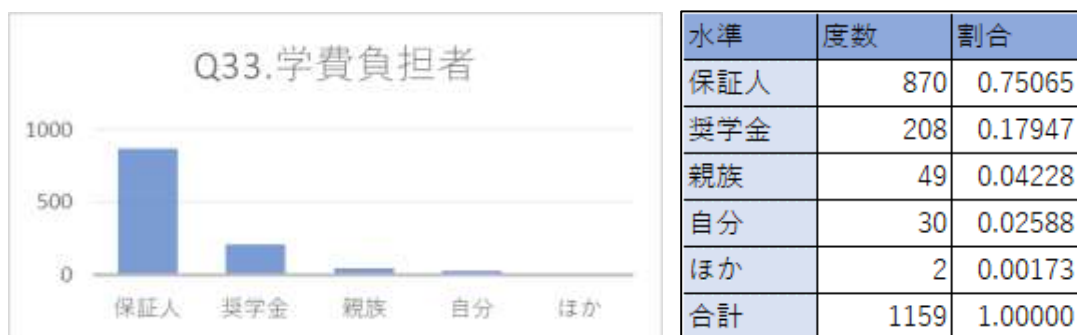
学年	友人	家族	しない	恋人	先輩	いない	ほか	相保	教職員
1	41.8%	37.1%	8.3%	5.7%	2.8%	1.6%	1.4%	0.9%	0.5%
2	44.4%	35.9%	7.1%	5.0%	2.2%	2.0%	1.8%	1.0%	0.6%
3	43.6%	35.3%	6.8%	6.4%	1.9%	0.8%	1.5%	1.5%	2.3%
4	40.2%	36.2%	5.0%	11.1%	1.5%	2.0%	1.0%	1.5%	1.5%

「友人」と「家族」の割合については、学年別にみても特段の違いは認められない。しかし、「相保」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については、3・4年生に比べて1・2年生の割合が低いことが指摘できる。

【経済状態・アルバイト】

Q33 学費の金額を最も多く負担しているのは次のどれですか。

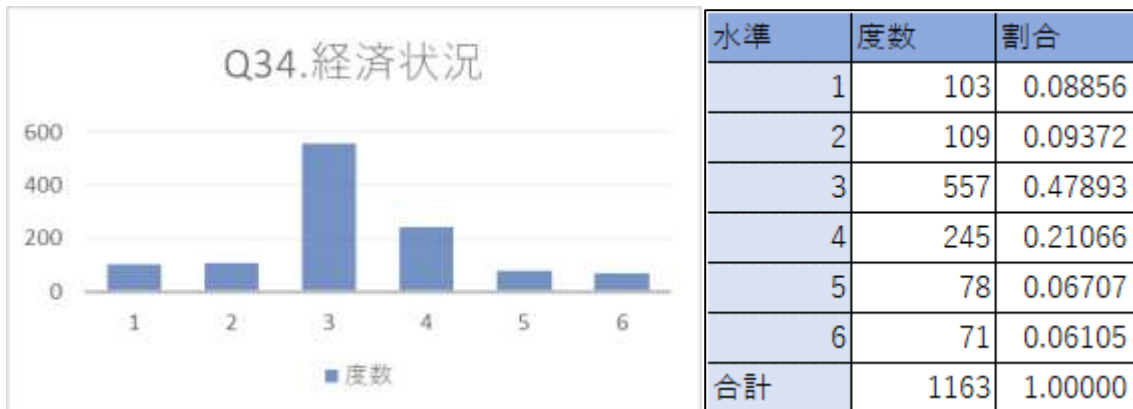
- ①保証人（親など） [保証人]
- ②自分 [自分]
- ③奨学金 [奨学金]
- ④祖父母等親族 [親族]
- ⑤その他 [ほか]



最頻値は「保証人」（保証人（親など））で約75%であった。次いで「奨学金」が約18%と続き、合計して約93%を占めている。昨年度と比べ、誤差であるが「奨学金」が1.4%程度減少している。一方で昨年度と同様に全体の約3%が「自分」であり、学費を自身で支弁している学生がいることがわかる。

Q34 現在の家庭の経済状況はいかがですか。

- ①余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③普通
- ④やや苦しい
- ⑤苦しい
- ⑥不明



最頻値は3（普通）で約48%である。また、4（やや苦しい）と5（苦しい）をあわせると約28%が経済状況について苦しいと回答していることがわかる。なお、昨年度は、3（普通）は約50%、4（やや苦しい）と5（苦しい）はあわせて約28%であった。

Q35 今年度のアルバイトについて選んでください。

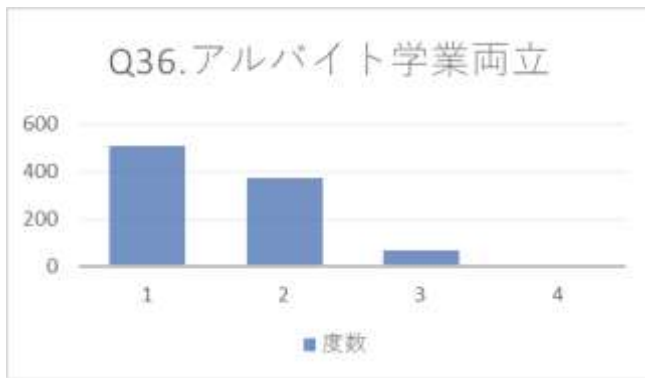
- ①常時している／いた
- ②時々している／いた
- ③していない



最頻値は1（常時している／いた）で約62%、昨年度より7%近く増加した。

Q 36 Q35 で①～②を選んだ方は、アルバイトと学業の両立はできていますか。

- ①できている
- ②ある程度できている
- ③あまりできていない
- ④まったくできていない



水準	度数	割合
1	508	0.52862
2	376	0.39126
3	68	0.07076
4	9	0.00937
合計	961	1.00000

1（できている）と2（ある程度できている）を合わせると、約92%の学生はアルバイトと学業の両立ができていることが見てとれる。ただし一方で3（あまりできていない）と4（まったくできていない）の割合を合わせると、約8%の学生がアルバイトによって学業に支障をきたしていることがわかる。奨学金などの支援制度の利用促進や、金銭面を理由とした修学継続に関する悩み相談がしやすい仕組みづくりが重要だといえよう。

【休学・退学】

Q37 休学や退学を考えたことがありますか

- ①休学を考えたことがあるが退学を考えたことはない [休]
- ②退学を考えたことがあるが休学を考えたことはない [退]
- ③休学と退学の両方を考えたことがある [休と退]
- ④休学も退学も考えたことがない [ない]

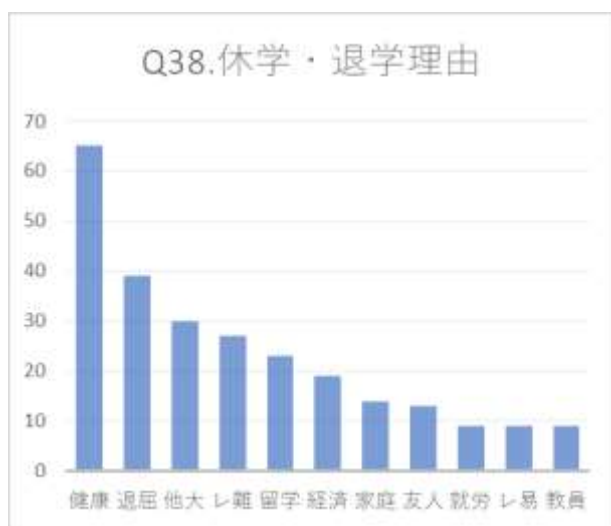


水準	度数	割合
ない	994	0.85249
休	65	0.05575
退	56	0.04803
休と退	51	0.04374
合計	1166	1.00000

最頻値は「ない」（休学も退学も考えたことがない）で約85%であった。一方で、全体の約15%の学生が、休学や退学を考えたことがあり、昨年度と変わらない傾向である

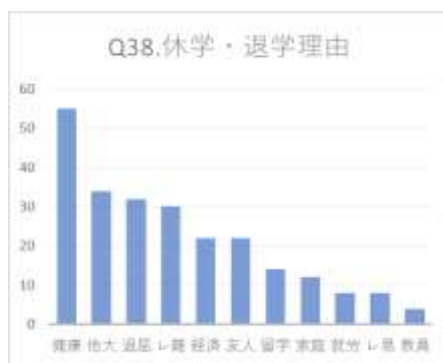
Q38 Q37で①～③を選んだ方は、その理由を教えてください(主なものを2つまで)

- ①授業が難しい／成績が振るわない等 [レ難]
- ②授業が易しすぎる／授業のレベルに不満である等 [レ易]
- ③授業に興味がない／授業がつまらない等 [退屈]
- ④教員とうまくいかない等 [教員]
- ⑤大学で友人関係がうまくいかない等 [友人]
- ⑥経済的事情 [経済]
- ⑦家庭の事情 [家庭]
- ⑧心身の健康面 [健康]
- ⑨留学・ワーキングホリデーのため等 [留学]
- ⑩他大学への入学・入学 [他大]
- ⑪働きたい [就労]



水準	度数	割合
健康	65	0.25292
退屈	39	0.15175
他大	30	0.11673
レ難	27	0.10506
留学	23	0.08949
経済	19	0.07393
家庭	14	0.05447
友人	13	0.05058
就労	9	0.03502
レ易	9	0.03502
教員	9	0.03502
合計	257	1.00000

参考：2024 年度



水準	度数	割合
健康	55	0.22822
他大	34	0.14108
退屈	32	0.13278
レ難	30	0.12448
経済	22	0.09129
友人	22	0.09129
留学	14	0.05809
家庭	12	0.04979
就労	8	0.03320
レ易	8	0.03320
教員	4	0.01660
合計	241	1.00000

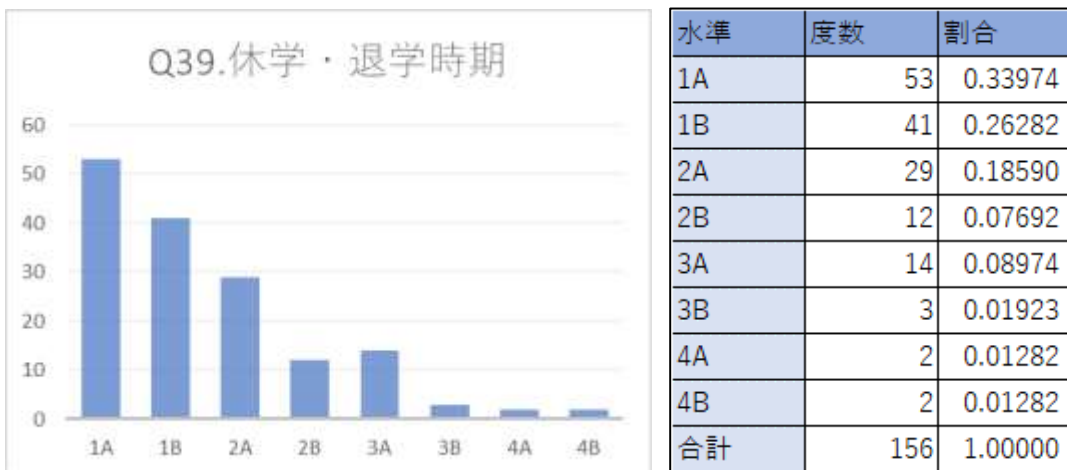
参考：2023 年度



Q37.において、休学や退学を考えたことがあると回答した学生は 172 人であり、回答した人数に対する割合を見てみると、「健康」（心身の健康面）が約 38%であった。次いで「退屈」（授業に興味を持ってない／授業がつまらない等）が 23%と続いており、昨年度 2 位になった「他大」（他大学への入学）を再び抜いている。

Q39 Q37 で①～③を選んだ方は、最初に考え始めた時期はいつ頃ですか。

- ① 1 年次前期（夏休みを含む） [1 A]
- ② 1 年次後期（春休みを含む） [1 B]
- ③ 2 年次前期（夏休みを含む） [2 A]
- ④ 2 年次後期（春休みを含む） [2 B]
- ⑤ 3 年次前期（夏休みを含む） [3 A]
- ⑥ 3 年次後期（春休みを含む） [3 B]
- ⑦ 4 年次前期（夏休みを含む） [4 A]
- ⑧ 4 年次後期（春休みを含む） [4 B]



1 年次の回答の割合が突出して高いことは昨年度も確認できた傾向であり、注意したい。また、3 年時前期で検討したという回答も増加している。

10. 本学への意見等 [自由記述]

このセクションでは、Q40（本学への意見等）に対する自由記述の結果を報告する。

Q40 本学への意見等、自由に書いてください。

実質的なコメントを書いたものが 248 件あった。それらを 1 件毎に精査し、言及している内容で分類し、帰納的にラベル（下位コード）を付与していった。1 件の中で複数の内容に言及しているものは複数の下位コードを付与した。類似の内容はひとつの上位コードにまとめた。以下、コード毎に該当件数によって降順にソートして示す。

<全体的な分布>

▼ ● 📁 コードシステム	248
> ● 📁 施設/設備等について	124
> ● 📁 学生へのサポートについて	26
> ● 📁 授業について	23
● 📁 大学に対する感謝等	19
● 📁 特定の部局・教職員に係る不満の表明	14
> ● 📁 大学全体の印象について	11
> ● 📁 課外活動について	6
> ● 📁 立地について	4
● 📁 学内システムへの不満・要望	3
● 📁 留学について	3
> ● 📁 学費・経済面について	2
● 📁 入学式・卒業式について	1
> ● 📁 アンケート調査について	1

昨年度に引き続き、施設／設備についての意見が最も多かった。次いで、学生へのサポートにいて、授業についての声が多かった。以下、それぞれの上位コードを展開した下位コードの分布を示す。

<施設／設備について>

> ● ④ スクールバスに関する不満・要望	31
> ● ④ 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	22
> ● ④ 飲食物施設に関する不満・要望	20
● ④ Wi-Fi環境に関する不満・要望	19
● ④ トイレの設備・備品に関する不満・要望	9
● ④ 喫煙に関する不満・要望	6
● ④ 図書館について	6
● ④ 空調設備・気温調節に関する不満・要望	5
● ④ 体育施設に関する不満・要望	3
● ④ 施設の老朽化について	2
● ④ 施設がよい・満足だ	1

スクールバスに関する不満・要望が最も多く、今年度は久喜・鴻巣便の関する声が多くなった。また、混雑緩和を求める声や、運転手や誘導スタッフの対応に関する要望についても多く見られた。

■久喜バスについて。定刻通りに来ない、本数が少ないなど、利便性に問題がある。特に5限終了後のバスは利用し辛い。チケット購入に時間的な制限がある点も不便であった。さらに、バスによってはカーテンすら設置されておらず、眩しく不快だった。

■久喜からのバスで通っているけど、毎回チケットを買うの大変だしバスのお金がかかるからっていう理由で授業を減らすことも考えなければならぬから不満。学費払ってるのにバス代も払うのはよく分からない。バスはチケットじゃなくて定期がいい。

■スクールバスの久喜便を増やしていただけたら嬉しいです。

■学校で自習をしたくても、久喜駅から大学へのバス、大学から久喜駅のバス 両方のバス本数が著しく少ないため、希望する時間に通学することができず、学習機会が制限されている状況です。さらに、長期休暇中に実施される実習オリエンテーションにおいても、利用可能なバスがほとんどなく、参加に支障が出ており、非常に困っています。この問題については昨年要望を提出しておりますが、現在に至るまで改善が見られず、強い疑問と不満を感じています。同様の不便さを感じている学生は多く、日常的に困っているという声が数多く上がっています。学生の学習環境や実習参加に直接影響を及ぼす重要な問題であるにもかかわらず、現状が放置されていることは看過できません。利用実態を踏まえたうえで、早急に運行本数およびダイヤの見直しを行っていただくよう、強く要望いたします。

■久喜駅から東松山までの便をもう少し増やしていただきたい。久喜発は朝7時15分発か9時半発の2本しかあらず、帰りは3限終わりの15時発16時半発そして時間を空けた19時発のみの3本だけ。我儘に聞こえるかもしれませんが正直に申しますと、辛いです。

■スクールバスの鴻巣便の本数を増やしてほしい

■私の場合スクールバスに乗るために鴻巣駅まで行かなければならないことです（時間的にも金銭的にも負担が大きい）。どうか熊谷駅、籠原駅、深谷駅あたりにスクールバスが来てほしいものです。鴻巣便のおかげで高坂駅まで行かなくて済むので現状でも大変助かっていますが。無理は承知です。密かに期待しています。

■スクールバスの混雑問題の改善を強く要望する。

■バスの混雑具合をどうにかして欲しい。

■スクールバスの台数を増やして欲しいです。

■スクールバスの運転の荒さをどうにかしてほしいです

■サークルで夜に東松山キャンパスからのスクールバスを利用する際、列への割り込みが非常に多く困っています。もし、並び順の改善などできることがありましたら、ぜひよろしくお願いします。

次いで多かったのは、施設・設備の利用や範囲の拡大に関する意見である。様々な大学設備に関する要望が寄せられた。

■ウォーターサーバーの設置を増やして欲しい(できれば7・8号館付近に)

■ウォーターサーバーをいろんなところに設置して欲しいです。

■板橋校舎の給水機を3号館近くに欲しい

■空きコマ等で利用できるフリースペースを増やして欲しい。座って話せる場所が少ないと感じ、もっと学校にいる時間を有効活用したいと考える。(東松山、板橋キャンパスどちらも)

■東松山キャンパスに自由スペースはたくさん確保いただいています、静かに勉強できる場所がもう少しあると助かります。

■板橋校舎にもう少し暇な時に机を使える場所(?)が欲しいと思ったが、東松山校舎より狭いから仕方がないのかなと思っていた。

■現在過ごしている東松山校舎は、自然豊かな校舎で素晴らしいです。しかし、階段がとても多く、広い校舎を移動する際に体力的に少しきつと感じることがあります。また、エレベーターはありますが混んでいることが多く、使いづらいと感じることが多々あります。そのため、エスカレーターの設置を検討してほしいです。

■キャンパス内にロッカーを作してほしいです。

■何度も書くが、大学のパソコン教室のパソコンはおそらく、メモリ不足のせいで、いつも重く、ときにはエクスプローラーが再起動して動作がおかしくなることがあるので、メモリ増設などを真剣に考えてほしい。8GB メモリはもはや限界ではないかと思う。32GB まではいらないが、せめて 16GB にしてほしいと思う。特に、東松山図書館のパソコンがひどいが、どこもさほど変わらないので、ぜひメモリ増設などを検討していただきたい。

■埼玉東松山キャンパスの 8 号館からキャンパスプラザや 11 号館のほうに出る道が夜とても暗く、転びそうになることがあったので、街灯などの照明の設置など、検討が行われることを願っているが、多分難しいだろうとは思っている。

■東松山キャンパスへの点字ブロック設置や DB ポータル、manaba のアクセシビリティ対応など、バリアフリーな環境を整えてほしいです。

■大東文化会館の利用制限緩和。

■資格勉強や大学の授業の勉強のために施設利用時間をとにかく延長してほしいです。22:00 まで自由ホールだけでもいいので利用時間を延長してほしいです。バスの運転延長までは求めません。

(原文ママ)

続いて多く見られたのは、飲食物施設に関する意見だった。

■学食が高すぎる

■学食をもっと値段や品揃えなど改善して欲しい

■生協加入してる人だけ安くするのやめて欲しい

■キッチンカーのバリエーションを増やしてほしいです！

■食堂やキッチンカーなどのメニューを定期的に更新、種類を増やすなどしてほしい。

■以前は学食以外のお店も入っていたと聞いたことがあります。今後は入る予定はないのでしょうか？

■5号館を活かしたカフェテリアを設置してほしい。休日でも行きたくなるような大学にしたい。

(原文ママ)

続いて、Wi-Fi等の通信環境に関する不満や要望が多かった。

■Wifiの環境を良くしてほしいです。

■WiFiが弱く、接続してもネットが使用できない

■とにかく総合体育館地下のネット環境を整備してもらわないと快適な学校生活を送れているとは思えない

■もう少し自由ホールのWi-Fi環境を良くしてもらいたいです。

■板橋キャンパスは東松山キャンパスよりもWi-Fiのつながりがスムーズだったので良かったのですが、図書館のWi-Fiのつながりは良くないと感じました。

■WiFiを強くしてほしい東松山校舎図書館4階の個室はWiFiが届かない

(原文ママ)

その他

■トイレが未だに和式があるのが困ります。

■東松山校舎の生協の隣にある喫煙所は大変迷惑です。ボックス型の喫煙所と言えど煙が外へ逃げますし、受動喫煙に繋がっています。喫煙者と非喫煙者が気持ちよく学校生活を送れるように、一度環境やルールを学校側で考えて頂きたいです。

■図書館が利用しやすく静かでも心地が良い。

■【不満】 通路が暑いこと。夏場はまるでサウナに居るかのような熱風と温度。空気の循環(送風など)や、常時冷房をして頂きたい。

■部活動でグラウンド、ウエイトルームを使える時間が限られている。空きコマの時間やフリーの時間

に使えるようになると、バイトや勉強に使える時間が増えて効率よく過ごせるから使用時間を増やしてほしいです。よろしくお願いします。

■611 及び 612 教室を出て外の階段を登るときに、地面に埋めてある石のブロックが凸凹していて歩きづらい。特に暗くなり足元が見えない時間帯になると、街灯もないため歩きづらいと感じました。

<学生へのサポートについて>

▼ ●🔍 学生へのサポートについて	0
> ●🔍 学生へのサポートに関する不満・要望	17
●🔍 メンタルケアについて	5
●🔍 サポート・対応に満足している	4

学生へのサポートについては、資格取得やキャリア支援、メンタルケアについての声が多かった。具体的なコメントを以下に挙げる。

■簿記や FP などの資格の取得が容易・活発になるよう、受験料の補助や表彰制度を作って欲しいです。

■簿記一級などの難関試験を独学で勉強している上でわからないことを解決できるような場を作って欲しい

■教職の授業に関して、通常の生徒が受ける授業とかぶることを防ぐために 5 限、6 限、土曜日に開講するのは理解できるが、通学時間上不便である生徒がいるということに配慮しているとは思えない。学籍番号で配属クラスが決まるので、割を食う生徒がいると感じる。時間割変更の申請が受諾される基準を下げてほしい。

■東松山校舎と板橋校舎の授業を続けて取りたい時、移動のために一コマ空けなくてはいけないので取りたい科目を受けられないことに困っています。そのため要望があるクラスはオンラインでも取得可能にしてもらいたいです。(特に教職が関係している授業)

■就職活動の支援が手厚くて良いと思います。

■キャリアセンターのアドバイザーやある大学教員に進路や就活のことで相談したら、親身に相談のってくれて本当に助かっています。時には厳しく、時には優しく指導してくれるので、就活がうまくいくといいなと思っています。

■就活支援(キャリアセンターによる支援、ご指導)や留学制度が非常に充実しており、どちらも大変お世話になりました。

■キャリアセンターにおいて、アドバイザーとの面談予約を1回だと次回予約が埋まってしまうので、可能であれば2回予約できるような仕組みがあれば嬉しいです。

■いつもさまざまな方々にサポートしていただきありがとうございます。学部学科や年齢に関わらず、傷つきすぎずに気軽に人とひとが交流できる機会がもうすこしふえたらなおもいます。大人の方がいらっしゃる中での交流スペースなどがあるといいのかもしれませんが。具体策として、授業科目内での変化は取り組みやすいかもしれません。グローバルスタディーズの科目は授業内交流という面で近いものがあるかもしれません。ただ、国際系の学部以外の方々もふみこみやすい仕組みになるととても嬉しいです。(留学生科目であっても、選択科目として他学部他学科にも単位認定できる制度など) 加えて、学生にとってなるべく心理的な負担感が少なく出入りしやすい心の居場所となるところになればと思います。それらがひとつでもあり、またはひとつでも増え分散できるといいのかもしれませんが。そして、対人関係や心理にお詳しい方々のサポートも一案かもしれません。様々な事情やご多忙かと思われそうですが、ご検討の機会となれば幸いです。引き続きよろしく願いいたします

■大東文化大学の教員や職員の方々は本当に接しやすく、学生との距離が近いように感じます。

■先生方がみんな優しいです。誰にも相談できないと思ったら、この大学の先生には聞いてもらえる気がします。

■履修や就職活動について職員の方に相談した際には、親身になって話を聞いていただき、大変感謝しております。

(原文ママ)

授業については、カリキュラム・時間割・単位の認定に関する要望が多かった。具体的なコメントを以下に挙げる。

<授業について>

▼ ●🗨️ 授業について	0
●🗨️ カリキュラム・時間割・単位の設定に関する不満・要望	7
●🗨️ ガイダンスの予告時期が遅い	4
●🗨️ 授業内容への不満・要望	4
●🗨️ 授業に満足している	4
●🗨️ 評価への不満・要望	3
●🗨️ 学生の受講態度が悪い	1

■資格取得のための授業の単位を卒業単位に含めてほしい

■もう少し新生に履修登録などをわかりやすくしてあげてほしいです。人数が多い授業は人が多いところが苦手な友人のためにもリモート授業を導入することを願っています。

■必修科目において、成績によってA～Gのクラス分けが行われていましたが、取得できる単位数に差がないにもかかわらず、クラスごとに授業の難易度に差があるように感じました。そのため、単位取得が思うようにいかない場面もありました。

■ガイダンス等の告知を1か月前にはして欲しい。

■ガイダンスなどのお知らせの通知が遅いと感じる。個人的な予定をすでに入れてしまっている場合がある為、もう少し早く出していただきたい。アルバイト先にシフトの変更を申し出る場面などもかなりありました。

■授業によって出席の取り方がバラバラで管理がしづらいです。バインドノートなどはこちらでも出席状況の管理がしやすい為、色々な授業で取り入れて欲しいです。

■出席率を上げるためマナバには資料を提示せず、教室で配布資料を配る方式をそろそろ復活しても良い。穴埋めもない完全な資料がマナバにあると授業にいくモチベーションが下がる。コロナの時オンライン授業で使っていたらしい極端に量が少なすぎたり、多すぎたりする講義資料を対面講義で使う講義があった。コロナ前の資料に戻すとか、対面講義用にブラッシュアップしてほしいと思った。対面講義なので黒板ももっと活用してほしい。

■授業の内容を3年に一度くらいは改訂してほしい

■どの先生も自分たちのや想いを受け止め技術をさらに向上させてくれる授業が受けれてとてもいいところだと思いますまた、わからないところにも真摯に向き合ってわかるまで教えていただいたり、生徒の意見を取り入れた授業をしていただきありがとうございます

■大東文化大学の全学共通の授業で学んだ知識が、実生活や学科の専門授業でも非常に役立っています。

■2年連続で政治学現地研修に参加しましたが、座学では学べない貴重な経験をすることができました。ぜひ、今後も大東文化大学のよき伝統として引き継いでいってほしいと考えています。

(原文ママ)

<大学に対する感謝等>

大学やスタッフに対する感謝等のコメントについて具体的な内容をいくつか引用する。

■板橋校舎に出来た自由ホールを勉強スペースとして活用することができているため、作ってくれた方に感謝している。

■今年度になり、東松山スクールバスの運転手さんが笑顔で挨拶をしてくださることが格段に増え、毎日利用する中で、心地よく利用できるようになりました。

■今年度、学内にウォーターサーバーを設置してくださりありがとうございます！金欠の自分にとってとても助かりました。

■思った以上に友人誰もがしっかりとした目標を持っており自分も負けじと資格や勉強に打ち込める良い環境のある学校に入学できたなど両親と学校にとっても感謝している。

■今年で卒業するのですが、この四年間とても充実した大学生活を満喫することができました。社会人になることに不安がいろいろありますが、大東文化大学で学んだことを活かして頑張りたいです。

■色んな出会いを、学びをくださって本当にありがとうございます。これからも楽しく、精一杯頑張ります。

■最高の学生生活でした。

(原文ママ)

<特定の部局・教職員に係る不満の表明>

特定の部局や教職員に関するコメントについては、該当部局がわかる場合には必要に応じて伝達したうえで対応の必要性の有無の判断を仰ぎたい。

<大学全体の印象について>

▼ ● 大学全体の印象について	0
● 大学に満足だ・入学してよかった	8
● のんびりした雰囲気	1
● 学力が高い学生が入学する大学であってほしい	1
● 大学に対する誹謗中傷に対応してほしい	1

大学全体に関わるコメントとしては、昨年度に引き続き「入学してよかった」「充実していた」といった肯定的なコメントが多かった。

■自分のやりたいことができる大東文化大学へ入学できた事に誇りを持っています。日々努力を重ね将来の夢へ近づけるよう、また大学を卒業できるように勉強していこうと思います。

■結構面白い大学でした

■総合的に考えて、この大学に入学して良かったと思っています。

■大東文化大学に来て本当に良かったと思います。教職員がとても優しく、わからないところも友人が教えてくれたり、自分が教えたり、助け合いながら学生生活を送っています。

■優しく学生が多くノンビリしている。

(原文ママ)

<課外活動について>

▼ ● 課外活動について	0
● 課外活動へのサポートに関する不満・要望	5
● イベントを増やしてほしい	1

課外活動については、部費等のサポートを手厚くしてほしいという意見が多かった。

■公認部活動に対しての支援金を増やしてほしい。箱根駅伝の応援でも金銭の影響で参加出来ない団員が多かった。

■部費をもっと増やしてほしい。

■部費の補助を出して欲しい

■サークル活動や委員会などをアピールすべきだと思う。

■もっと各学部内での仲が深まるようなイベントがあったら良いのにな、と思います。

(原文ママ)

<立地について>

キャンパスの立地に関する意見も寄せられた。

■東京にもう一つキャンパスを作ってほしい

■入ってみてとてもいい大学だったので場所が良ければもっと人気が出ると思います。

■キャンパスが古いと思うので都心に新しく建て直したほうが良いと思う

(原文ママ)

<学内システムへの不満・要望について>

DB ポータル等の学内システムについて要望があった。

■DB ポータルがわかりにくいです

■DP ポータルの内容がメールでもわかるようにしてほしい。(manabaのように)

■急ぎで学割証を発行したいことが多いが、対応時間が限られていて発行できない。せめて開校時間中は発行できるように伸ばしてほしい。

(原文ママ)

<留学について>

留学制度や支援体制について要望があった。

■就活支援(キャリアセンターによる支援、ご指導)や留学制度が非常に充実しており、どちらも大変お世話になりました。

■留学センター、留学生が東松山にしかいない為交流を図るためには板橋から行かないといけないのがネックになって思ったような交流ができていないです。

■留学制度をもっと充実してほしい。交換留学行ける国や大学をもっと多くしてほしい。留学をもっと行きやすくしてほしい。

(原文ママ)

以上